

すずむし

第114号

1977年12月

倉敷昆虫同好会

すずむし

No. 114

Dec., 1977

岡山県のコメツキムシ

渡辺 昭彦

(〒701-01 倉敷市上東1050-1)

岡山県のコメツキムシに関する報告はごく少く、県内のコメツキムシ相はほとんど明らかにされていない。現在までの所、中根猛彦博士の同定によって25種が記録された、重井・青野・小野・林の「新庄村昆虫調査報告（その2）」（1965年）が最もまとまり、また信頼のできる報告である。筆者はこの外には、同定などの信頼できる報文はほとんど見い出すことができなかった。中国地方においても、まとまった報文としては広島より大平・中村・大沢によって80種余りが記録されている「広島県のコメツキムシ」（1971年）ぐらいである。

筆者の手もとには、県内の同好者の御好意により、ある程度の標本が集り、また興味深い種もいくつかあるので、とりあえずここに報告しておきたい。本県のコメツキムシ科に興味を持つ諸氏の参考になれば幸いである。

今回は県内のコメツキムシ相解明の手がかりとして、現在筆者の手もとにある標本より120種、引用により4種の計17亜科124種を記録した。調査はまだまだ不十分なので、今後調査が進めば、種数や分布・生態の知見などまだまだ増えるものと思われる。

この報文の発表にあたり、同定の難しい種については、京都 平安高校の岸井尚先生に同定をお願いした（1977年10月）。そして、それらの個体の記録には「…岸井同定」と付けた。その他の個体の同定および種名は大平仁夫博士の「日本のコメツキムシ」（1969～72）によったが、大平・岸井両氏の報文により、その後記載または変更された種名についてはそれにしたがった。分布や生態については、まだまだ論じられる段階ではない。

快く同定をされ、また多くの有益な助言をいただいた岸井尚氏、文献などをお世話になった京都市在住の正木清氏、また多数の貴重な標本を提供していただいた山地治、那須敏、三宅宗夫、分島徹人、直海俊一郎、井上洋一の各氏に心からお礼を申しあげます。

Family ELATERIDAE コメツキムシ科

Subfamily I HEMIRHIPINAE クシヒゲコメツキ亜科

1. *Tetrigus lewisi* CANDEZE, 1873 オオクシヒゲコメツキ

赤磐郡風連村（日本産コメツキムシ科の幼虫の形態学的ならびに分類学的研究、大平仁夫、1962）

幼虫の記録である。現在の地名は未調査である。

Subfamily II CHALCHOLEPIDIINAE ウバタマコメツキ亜科

2. *Paracalais yamato* (NAKANE, 1957) オオウバタマコメツキ

高梁市臥牛山 1♀ 25. VI. 1972 (山地) 岸井同定

稀な種のようで原産地の奈良春日山の他には、香川県象頭山(記録があるのみである。

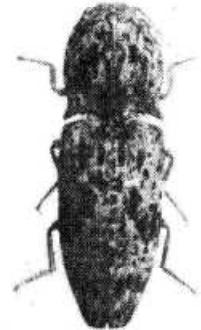
3. *P. berus berus* (CANDEZE, 1864) ウバタマコメツキ

岡山市高松 1♂ 12. V. 1974 (渡辺)

津山市黒沢山 1♀ 18. IV. 1971 (山地)

高梁市臥牛山 2♀ 31. V. 1971 (那須)

普通種で、松の倒木などでよく採れる。



Paracalais yamato
オオウバタマコメツキ
♀臥牛山産

Subfamily III AGRYPNINAE サビキコリ亜科

4. *Lacon (Zalepia) parallelus parallelus* (LEWIS, 1894) コガタノサビコメツキ

高梁市臥牛山 3exs. 20. II. 1972 (山地)

樹皮下より越冬中の個体を得たとのこと。

5. *Alaotypus maeklininii* (CANDEZE, 1865) オオサビコメツキ

苦田郡三ヶ上 1ex. 9. VII. 1972, 1ex. 9. VII. 1974 (山地)

6. *Adelecera (Sabikikorius) fuliginosus* (CANDEZE, 1865) ホソサビキコリ

岡山市西大寺 1ex. - VI. 1963 (那須)

高梁市広瀬 7exs. 3. V. 1977 (金田, 直海)

普通種で分布は広い。広瀬では河原で得られている。

7. *Agrypnus (s. str) cardicollis* (CANDEZE, 1865) ムナビロサビキコリ

勝田郡滝山 5exs. 5. VI. 1977 (渡辺)

高梁市臥牛山 1ex. 21. VI. 1973 (渡辺)

同上 1ex. 15. V. 1971, 1ex. 10. V. 1974 (山地)

8. *A. (s. str) binodulus binodulus* (MOTSCHULSKY, 1860) サビキコリ

倉敷市福山 1♀ 24. V. 1974 (渡辺)

高梁市臥牛山 1ex. 10. V. 1974 (山地)

極めて普通の種で分布も広くこの他多数得られる。また燈火にもよく集まる。

9. *Colaoulon scrofa scrofa* (CANDEZE, 1873) ヒメサビキコリ

岡山市大原 2exs. 4. VI. 1977 (渡辺) ……岸井同定

倉敷市連島 1ex. 3. III. 1963 (三宅)

総社市満井 34exs. 17. IV. 1976 (渡辺) ……岸井同定

河原の石下より極めて多数得られ、上記の他、新見市・高梁市などにも多産する。

10. *C. hypnicola* KISHII, 1964 コガタヒメサビキコリ

岡山市大原 4exs. 28. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定

岡山市半田山 1ex. 15. V. 1976 (山地) ……同上

岡山市後楽園 1ex. 19. VI. 1976 (分島)

岡山市津島 1ex. 27. VII. 1977 (金田) ……岸井同定

倉敷市連島 1ex. 6. I. 1965 (三宅)

川上郡西油野 1ex. 25. V. 1976 (直海) ……岸井同定

河原などで得られるがあまり多くない。半田山のは燈火で得られたとのこと。

11. *Brachylacon* (*s. str.*) *microcephalus difficilis* (LEWIS, 1894) シロオビチビ
サビキコリ

高梁市臥牛山 1ex. 6. VI. 1976, 1ex. 4. VII. 1976, 1ex. 27. V. 1977 (金田)

3exs. 17. IV. 1977

Subfamily IV CONODERINAE チビコメツキ亜科

12. *Aeoloderma* (?) *agnata* (CANDEZE, 1873) マダラチビコメツキ

岡山市大原 1ex. 28. V. 1977, 2exs. 4. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定

赤磐郡山陽町 97exs. 25. V. 1977 (渡辺)

分布は広くまた、地表性で畑などに多いが燈火にもよく来る。

Subfamily V NEGASTRIINAE ミズギワコメツキ亜科

13. *Yukoana carinicollis* (LEWIS, 1894) ヘリムネマメコメツキ

英田郡若杉 2exs. 8. V. 1977 (渡辺、奥田) ……岸井同定

高梁市臥牛山 1♀ 6. VI. 1976 (直海) ……同上

14. *Y. elliptica* (CANDEZE, 1873) ヘリマメコメツキ

高梁市広瀬 1ex. 3. V. 1977 (金田) ……岸井同定

15. *Quasimus* (*s. str.*) *ovalis* (CANDEZE, 1873) マルマメコメツキ

岡山市高松稻荷山 1ex. 22. V. 1977 (金田) ……岸井同定

16. *Q. (s. str.) Kyotoensis* KISHII, 1966 キヨウトチビマメコメツキ

高梁市臥牛山 43exs. 6. VI. 1976 (渡辺) ……岸井同定

17. *Q. (s. str.) japonicus* KISHII, 1959 ニホンチビマメコメツキ

倉敷市日差山 1ex. 27. VI. 1971 (渡辺) ……岸井同定

高梁市臥牛山 5exs. 6. VI. 1976 (渡辺) ……同上

18. *Q. (s. str.) issunboushi* KISHII, 1966 ケシチビマメコメツキ

高梁市臥牛山 3exs. 6. VI. 1976 (渡辺) ……岸井同定

19. *Q. (s. str.) chibi* KISHII, 1976 チビマメコメツキ

高梁市臥牛山 1ex. 6. VI. 1976 (渡辺) ……岸井同定

同上 1ex. 27. V. 1977 (金田) ……同上

20. *Monodicus* (*Yamatostrius*) *albipilis* (CANDEZE, 1873) シラケミズギワコメツキ
 英田郡若杉 2exs. 9. V. 1976 (山地) 岸井同定
 岡山市大原 11exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 同上
 総社市湛井 71exs. 18. IV. 1976 (渡辺) 同上
 広島県内より近年本種に酷似する *M. (Y.) osawai* (ŌHIRA) が記載されているので本種との関係が気になる。
21. *Pronegastrius* (*s. str*) *humeralis* *humeralis* (CANDEZE, 1873) カタモンチビコメツキ
 苦田郡奥津 2exs. 2. VII. 1977 (金田) 岸井同定
 岡山市大原 4exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 同上
 総社市湛井 6exs. 18. IV. 1976 (渡辺) 同上
22. *Pronegastrius* (*Chibistrius*) *lewisi* (SCHWARZ, 1907) チビミズギワコメツキ
 岡山市大原 3exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 岸井同定
23. *Migiwa* (*s. str*) *curatus* *curatus* (CANDEZE, 1873) ミズギワコメツキ
 苦田郡奥津 11exs. 2. VIII. 1977 (金田) 岸井同定
24. *M. (s. str)* *tutus* (LEWIS, 1894) キアシミズギワコメツキ
 英田郡若杉 15exs. 9. V. 1976 (山地) 岸井同定
 苦田郡奥津 5exs. 2. VIII. 1977 (金田) 同上
 岡山市大原 21exs. 28. V. 1977 (渡辺) 同上
 同上 2exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 同上
25. *M. (Neomigiwa) quadrillum* (CANDEZE, 1873) ヨツモンミズギワコメツキ
 苦田郡奥津 12exs. 2. VIII. 1977 (金田) 岸井同定
 岡山市大原 20exs. 28. V. 1977 (渡辺) 同上
 同上 17exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 同上
26. *Microhypnus agilis* (LEWIS, 1894) ホソミズギワコメツキ
 岡山市大原 26exs. 4. VI. 1977 (渡辺) 岸井同定

この亜科の種は同定の困難な物が多く、記録は、すべて岸井氏に同定していただいた個体によった。またNo.16, 18, 19の三種は記載後初の記録であり、特にNo.19のチビマメコメツキは1頭の♀のみで記載されているため、貴重なものです。

Subfamily VI OXYNOPTERINAE ヒゲコメツキ亜科

27. *Pectocera fortunei* *fortunei* CANDEZE, 1873 ヒゲコメツキ
 赤磐郡山陽町 11♂ 14. VI. 1977 (渡辺)
 岡山市津島 1♀ 1. V. 1973 (山地)
 岡山市高松 1♀ 22. V. 1974 (山地)
 新見市草間 1♀ 13. VI. 1965, 1♀ 22. VI. 1968 (那須)
 高梁市臥牛山 1♀ 30. IV. 1972, 1♂ 10. VI. 1972 (山地)

極めて普通の種である。

Subfamily VII DENTICOLLINAE ベニコメツキ亜科

28. *Denticollis miniatus* (CANDEZE, 1885) ミヤマベニコメツキ

苦田郡岩崎谷 1♂ 23. V. 1976 (山地)

苦田郡上斎原 1♂ 21. V. 1969 (那須)

小田郡鬼ヶ獄 1♂ 3. V. 1972 (那須)

真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

新庄村の個体は、*D. scutellaris* LEWIS の学名で記録されている。

29. *D. nipponensis* OHIRA, 1973 ニホンベニコメツキ

苦田郡三ヶ上 2♀ 13. V. 1973, 1♂ 1♀ 18. V. 1974 (山地)

阿哲郡雄山 1♀ 14. VI. 1970 (渡辺)

高梁市臥牛山 1♀ 12. V. 1972 (那須)

高梁市玉川 3♂ 8. V. 1971 (山地)

小田郡鬼ヶ獄 1♀ 3. V. 1971 (那須)

真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

新庄村の個体は、*D. miniatus* (C.) ベニコメツキの名で記録されている。普通の種で春に多い。

Subfamily VIII ATHOINAE ツヤハダコメツキ亜科

1. Limonius group

30. *Gambrinus kraazi nihonicus* KISHI, 1966 フタキボシカネコメツキ

勝田郡滝山 1♂ 5. VI. 1977 (渡辺)

苦田郡毛無山 1♀ 27. VI. 1976 (山地)

31. *G. limbatipennis* NAKANE et. KISHI, 1955 ヘリアカカネコメツキ

高梁市臥牛山 1♂ 24. IV. 1970 (山地) ……岸井同定

同上 1♂ 5. V. 1974 (井上) ……同上

稀な種である。

32. *G. rufipennis* (LEWIS, 1894) ハネアカカネコメツキ

勝田郡滝山 1ex. 5. VI. 1977 (渡辺)

高梁市臥牛山 1♀ 29. IV. 1973, 1♂ 29. IV. 1974 (渡辺)

同上 1♂ 30. IV. 1972 (山地)

同上 1♂ 6. VI. 1976 (金田)

カエデやイヌザンショウなどの花で得られている。またすべて翅鞘会合部の黒化した型 (ab. form *nigrovittatus*) である。

33. *G. vittatus* (CANDEZE, 1873) タテジマカネコメツキ

英田郡若杉 1♀ 22. V. 1971 (三宅)

同上 1♀ 8. V. 1977 (奥田)

- 御津郡臥竜山 1♂ 24. IV. 1977 (渡辺)
 高梁市臥牛山 1♂ 26. IV. 1970, 1♀ 29. IV. 1973 (山地)
 同上 1♀ 29. IV. 1970, 1♀ 30. IV. 1973 (渡辺)
 小田郡鬼ヶ獄 1♂ 3. V. 1971, 1♂ 3. V. 1972 (那須)
 総社市美袋 1♂ 3. V. 1974 (井上)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
 春にカエデの花などで得られ少くない。

34. *G. atricolor* (LEWIS, 1894) クロカネコメツキ

- 英田郡福本 1♂ 29. IV. 1970 (山地ヤ)
 高梁市臥牛山 1♂, 1♀ 29. IV. 1970 (渡辺)
 高梁市玉川 1♀ 29. IV. 1974 (井上)
 川上郡西油野 1♀ 25. IV. 1976 (直海)

35. *G. nipponensis* (LEWIS, 1894) ニホンカネコメツキ

- 高梁市臥牛山
 1♂ 10. V. 1974 (山地) ……岸井同定
 高梁市臥牛山
 1ex. 24. IV. 1971, 1♀ 25. V. 1975 (山地)

- 高梁市臥牛山
 1♀ 6. IV. 1976 (渡辺)
 総社市美袋

1♂, 1♀ 3. V. 1974 (井上)
 臥牛山では少なくない。今まで得られた個体はすべて真ちゅう色の微毛を生じたものである。

36. *G. montivagus* (LEWIS, 1894) ミヤマカネコメツキ

- 苦田郡三ヶ上 1ex. 23. V. 1976 (山地)

37. *Kibunea eximia* (LEWIS, 1894) ムラサキカネコメツキ

- 岡山市半田山 1♀ 15. IV. 1973 (渡辺)
 高梁市臥牛山 4♂, 3♀ 29. IV. 1970, 1♂ 30. IV. 1970 (渡辺)
 同上 1♂ 26. IV. 1970, 2♀ 5. V. 1970 (山地)
 川上郡西油野 1♂ 25. IV. 1976 (直海)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)

38. *K. approximans* (LEWIS, 1894) キアシヒメカネコメツキ

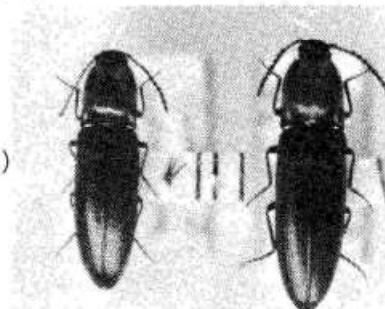
- 勝田郡滝山 1ex. 5. VI. 1977 (渡辺)

2. *Athous* group

39. *Stenogustus umbratilis* (LEWIS, 1894) オオツヤハダコメツキ

- 苦田郡上齊原 1ex. 10. VIII. 1975 (渡辺)
 高梁市臥牛山 1ex. 16. VIII. 1972 (山地)

40. *Miwacrepidius subcyaneus* (MOTSHULSKY, 1866) ルリツヤハダコメツキ



Gambrinus nipponensis
ニホンカネコメツキ左♂右♀
臥牛山産

- 岡山市半田山 1♂, 1♀ 14. VI. 1976 (渡辺)
 新見市長屋 1♀ 16. VI. 1969, 1♀ 6. VII. 1969 (三宅)
 高梁市広瀬 1♂ 17. VI. 1962 (那須)
41. *Medakathous jactatus jactatus* (LEWIS, 1894) メダカツヤハダコメツキ
 勝田郡滝山 1♂ 2. VIII. 1973 (山地)
42. *Pseudathous desertor* (CANDEZE, 1873) ヒメクロツヤハダコメツキ
 勝田郡那岐山 1♂ 15. VII. 1971 (山地)
 勝田郡滝山 6♂ 27. VII. 1973 (那須)
 真庭郡湯原 1♀ 12. VIII. 1977 (渡辺)
43. *P. secessus secessus* (CANDEZE, 1873) クロツヤハダコメツキ
 勝田郡那岐山 1♂ 15. VII. 1971 (山地)
 勝田郡滝山 2♂ 27. VII. 1973 (那須)
 岡山市半田山 1♂ 15. V. 1976 (山地)
 苫田郡三ヶ上 1♂, 1♀ 9. VII. 1974 (渡辺)
 新見市草間 1♀ 24. VI. 1973 (渡辺)
- 普通の種である。

3. *Athousius* group

44. *Athousius humeralis* (MIWA, 1927) カタモンホソツヤハダコメツキ
 英田郡若杉 1♂ 16. VII. 1975 (山地)

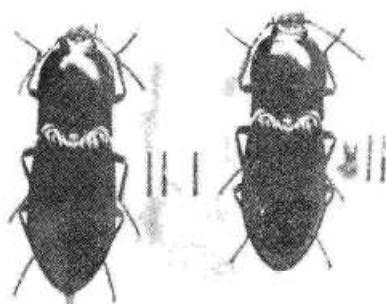
Subfamily IX HYPNOIDINAE ヒサゴコメツキ亜科

45. *Ascoliocerus* (*Colioascerus*) *saxatilis* (LEWIS, 1894) クロヒラタヒサゴコメツキ
 苫田郡上齋原 1♀ 17. V. 1970 (渡辺)
 御津郡宇甘瀬 4♂, 9♀ 19. III. 1977 (直海, 渡辺)
 新見市千屋 3♂, 12♀ 2. V. 1976 (山地, 渡辺)
 高梁市臥牛山 1♀ 29. IV. 1970 (渡辺)
 河原の石下より普通に得られる。
46. *A. (C.) fluvialis* (LEWIS, 1894) キアシヒラタヒサゴコメツキ
 英田郡若杉 1ex. 9. V. 1976 (山地)
 川上郡西油野 2♂, 4♀ 25. IV. 1976 (直海)

Subfamily X CTENICERINAE ヒラタコメツキ亜科

47. *Anostirus* (*Ipostirus*) *daimio* (LEWIS, 1894) ダイミョウヒラタコメツキ
 苫田郡上齋原 2♂ 17. V. 1968 (那須)
 同上 1♂ 17. V. 1970 (渡辺)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
 同上 1♀ 22. VI. 1968, 1♂ 31. VI. 1970 (三宅)
48. *Corymbitodes nikkoensis* (JAKOBSON, 1913) ベニホソヒラタコメツキ

- 英田郡若杉 2♂, 1♀ 8. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定
 同上 3♂, 2♀ 8. V. 1977 (黒田, 金田, 分島)
 勝田郡滝山 1♀ 6. V. 1973 (山地)
49. *C. concolor* (LEWIS, 1894) クロホソヒラタコメツキ
 英田郡若杉 1♂ 8. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定
 勝田郡滝山 1♀ 15. VI. 1975 (山地) ……同上
 苫田郡上齊原 1♂, 1♀ 18. V. 1974 (山地) ……同上
 真庭郡神庭の滝 2♂, 3♀ 16. IV. 1977 (山地) ……同上
 川上郡西油野 3♂, 1♀ 25. IV. 1976 (直海) ……同上
50. *C. gratus* (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ
 英田郡若杉 1♂ 8. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定
 英田郡福本 1♀ 29. IV. 1970 (山地)
 苫田郡上齊原 2♂, 4♀ 17. V. 1970 (渡辺)
 御津郡宇甘瀬 1♀ 4. V. 1975 (山地)
 小田郡鬼ヶ獄 2♀ 3. V. 1974 (渡辺)
 普通種でカエデの花などでよく得られる。
51. *C. obscuripes* (LEWIS, 1894) コゲチャホソヒラタコメツキ
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
52. *Acteniceromorphus fulvipennis* (LEWIS, 1894) アカハネフトヒラタコメツキ
 真庭郡湯原 1♂ 25. IV. 1971 (分島) ……岸井同定
53. *Selatosomus onerosus* (LEWIS, 1894) トラフコメツキ
 英田郡若杉 1♀ 8. V. 1974 (那須)
 同上 3♂ 8. V. 1977 (渡辺, 分島)
 苫田郡上齊原 1♂ 17. V. 1970 (渡辺)
 同上 1♀ 21. V. 1969 (那須)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
54. *Selatosomus vagepictus* (LEWIS, 1894) ヒメウストラフコメツキ
 苫田郡上齊原 1♂ 21. V. 1969 (那須)
 御津郡宇甘瀬 2♂, 3♀ 6. V. 1974, 1♀ 4. V. 1975 (山地)
 高梁市広瀬 1♂ 9. V. 1971 (渡辺)
 同上 2♂ 18. IV. 1976 (山地, 渡辺)
 高梁市玉 1♀ 24. IV. 1966 (三宅)
55. *Aphotistus miyajimana* OHIRA, 1971
 ミヤジマコガネコメツキ
 岡山市高松 1♀ 8. V. 1974, 2♂ 25. IV. 1976 (山地)



Aphotistus miyajimana ミヤジマコガネコメツキ 右♀ 左♂ 岡山市産

- 高梁市臥牛山 1♂ 5. V. 1975 (藤本…coll. 正木)
 広島より近年記載された種であり、このような大型美麗種が今までなぜ採れなかつたのか不思議である。宮島以外では、初の記録である。
56. *Actenicerus pruinosus* (MOTSCHLSKY, 1860) シモフリコメツキ
 英田郡後山 2♂ 13. VI. 1971 (渡辺)
 御津郡金川 1♀ 7. V. 1977 (分島)
 高梁市広瀬 1♀ 18. V. 1975 (渡辺)
 総社市美袋 4♂ 3. V. 1974 (井上)
 岡山市金甲山 1♂, 1♀ 5. V. 1965 (渡辺)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
 普通種である。また、新庄村の記録は、*A. orientalis*の学名でなされている。
57. *A. orientalis* (CANDEZE, 1889) ヒメシモフリコメツキ
 苫田郡上齊原 1♀ 9. VII. 1974 (山地)
 同上 1♂ 17. V. 1970 (渡辺)
 阿哲郡雌山 1♀ 14. VI. 1970 (渡辺)
 総社市美袋 1♀ 23. V. 1965, 1♀ 7. VI. 1970 (那須)
 同上 1♂, 2♀ 3. V. 1974 (井上)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
 新庄村の個体は *A. pruinosus* の学名で記録されている。
58. *A. suzukii suzukii* (MIWA, 1927) チャバネシモフリコメツキ
 勝田郡那岐山 1♂, 1♀ 3. VI. 1973 (山地)
59. *A. modestus* (LEWIS, 1894) ヘリアカシモフリコメツキ
 英田郡若杉 1♂, 1♀ 8. V. 1977 (奥田)
 高梁市木野山 2exs. 23. IV. 1972 (山地)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
60. *Eanoides puerilis* (CANDEZE, 1873) シリブトヒラタコメツキ
 和気郡八塔寺山 1ex. 27. V. 1973 (山地)
 御津郡本宮山 2exs. 12. V. 1974 (山地)
 岡山市高松 1♂ 12. V. 1974 (渡辺)
 高梁市臥牛山 2exs. 28. IV. 1969, 1ex. 26. V. 1971 (那須)
61. *Paraphotestus notabilis* (CANDEZE, 1873) オオナガヒラタコメツキ
 新見市草間 1ex. 23. VI. 1970 (那須) ……岸井同定
 総社市美袋 1ex. 12. V. 1969 (那須)
 2個体共に上翅は赤褐色の個体である。
62. *Neopristilophus serrifer* (CANDEZE, 1873) アカヒゲヒラタコメツキ
 苫田郡三ヶ上 1♂ 1. VI. 1974 (渡辺)
 高梁市臥牛山 1♂ 29. V. 1970 (那須)
 同上 1♂ 23. V. 1971 (山地)

63. *Calambus mundalus* (LEWIS, 1879) クロツヤヒラタコメツキ

英田郡若杉 1ex. 8. V. 1977 (奥田)
勝田郡滝山 1ex. 27. VII. 1973 (那須)
苦田郡三ヶ上 1♂ 18. V. 1974, 1♀ 9. VII. 1974 (山地)

Subfamily XI PHYSORHININAE アシブトコメツキ亜科

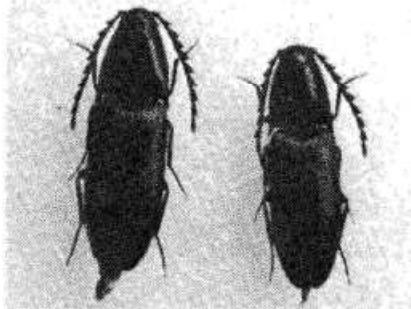
64. *Anchastus mus* LEWIS, 1894 クロ

アシブトコメツキ
英田郡若杉 2♂ 8. V. 1977
(奥田)

稀な種である。

65. *A. aquilis aquilis* CANDEZE, 1873

赤磐郡熊山 1♂ 7. VII. 1976
(金田)



Anchastus mus クロアシ
ブトコメツキ 2♂ 若杉産

Subfamily XII AMPEDINAE コメツキ亜科

66. *Gamepenthes versipellis* (LEWIS, 1894) メスアカキマダラコメツキ

勝田郡那岐山 1♀ 22. VII. 1974 (山地)

67. *G. ornatus* (LEWIS, 1894) コキマダラコメツキ

苦田郡三ヶ上 1♀ 9. VII. 1974 (山地)

68. *Procræterus (Agaripenthes) helvolus* (CANDEZE, 1873) ヒメホソキコメツキ

高梁市臥牛山 1ex. 3. VII. 1974 (山地)

69. *Hayekpenthes pallidus* (LEWIS, 1894) ホソツヤケシコメツキ

真庭郡湯原 1♂ 12. VIII. 1977 (渡辺)

70. *Penthelater plebejus* (CANDEZE, 1873) コフトナガコメツキ

赤磐郡山陽町 1♂ 14. VII. 1977, 1♀ 25. VIII. 1977 (渡辺)

71. *Ectamenogonus rugipennis* (LEWIS, 1894) アラハダチャイロコメツキ

高梁市臥牛山 1♂ 14. IX. 1977 (山地)

72. *Hatermelater bicarinatus bicarinatus* (CANDEZE, 1873) チャイロコメツキ

岡山市牧山 1ex. (蛹) 12. VI. 1977→羽化25. VI. 1977 (渡辺)

岡山市後楽園 1ex. 19. VI. 1976 (分島)

牧山では、マツの切株より蛹が得られた。

73. *PseudeLater carbunculus* (LEWIS, 1879) ヒメクロコメツキ

苦田郡三ヶ上 1♂ 16. V. 1971, 1♀ 9. VII. 1974 (山地)

御津郡本宮山 3♀ 12. V. 1974 (山地)

高梁市臥牛山 2♂ 29. IV. 1973, 2♂, 3♀ 6. VI. 1976 (渡辺)

川上郡西油野 4♂, 9♀ 25. IV. 1976 (直海, 山地, 渡辺)

低山～山地で得られる普通種

74. *Ampedus (Pademus) miles* (LEWIS, 1894) ハネビロアカコメツキ

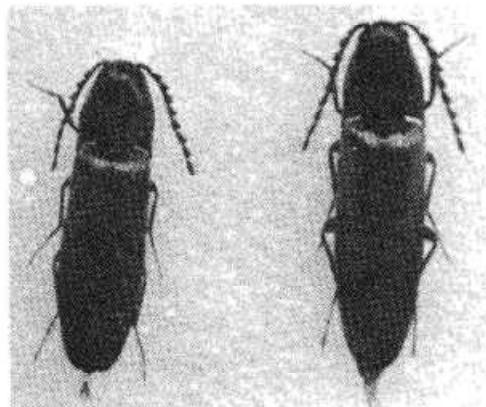
苫田郡上齊原 1♀ 21. V. 1969 (那須)

新見市井倉 2exs. 31. V. 1964 (三宅)

深紅の翅鞘をした大変美しいコメツキであるが多くない。

75. *A. (Lewisielius) gracilipes* (LEWIS, 1894) ミヤマタテスジコメツキ英田郡若杉 1♂ 8. V. 1977 (奥
田) ……岸井同定同上 1♂ 8. V. 1977 (渡
辺)稀な種である。なお、奥田氏の個体は原
型、筆者のは翅鞘の全く黒化した個体で
ある。76. *A. (s. str) optabiris* (LEWIS, 1894)

オオアカコメツキ

高梁市臥牛山 1♀ 29. V. 1977 (直
海) ……岸井同定*Ampedus (L.) gracilipes* ミヤ
マタテスジコメツキ 2♂ 若杉産77. *A. (s. str) orientalis* (LEWIS, 1894) アカコメツキ

勝田郡那岐山 1♀ 14. XI. 1971 (山地) ……岸井同定

苫田郡上齊原 1♂ 17. V. 1968 (那須) ……同上

高梁市臥牛山 1♀ 29. V. 1971, 1♂ 20. II. 1972 (山地) ……同上

同上 1♀ 29. IV. 1973 (渡辺) ……同上

真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

78. *A. (s. str) fagi* (LEWIS, 1894) アカアシアカコメツキ

勝田郡那岐山 1♀ 14. XI. 1971 (山地) ……岸井同定

高梁市臥牛山 1♀ 3. V. 1977 (直海) ……同上

79. *A. (s. str) hypogastricus* (CANDEZE, 1873) アカハラクロコメツキ

勝田郡那岐山 1♂ 14. XI. 1971 (山地)

岡山市半田山 1♀ 28. V. 1975 (渡辺)

高梁市臥牛山 1♂, 1♀ 10. V. 1974 (山地)

平野部～山地部で、どこでも普通に得られる。

80. *A. (s. str) tenuistriatus* (LEWIS, 1894) ホソクロコメツキ

苫田郡三ヶ上 1♂ 1 VI. 1974 (渡辺) ……岸井同定

同上 1♂ 18. V. 1974, 1♂ 18. V. 1975 (山地) ……同上

真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

81. *A. (s. str) aureovestitus* KISHI, 1966

英田郡若杉 7♂ 8. V. 1977 (奥田, 金田) ……岸井同定

82. *A. (s. str) purooulus* (LEWIS, 1894) コナガクロコメツキ

川上郡西油野 2♂, 2♀ 25. IV. 1976 (直海, 渡辺) ……岸井同定

83. *A. (s. str) rufipes* (LEWIS, 1894) アカアシクロコメツキ
 勝田郡滝山 1♂, 1♀ 5. VI. 1977 (渡辺)
 御津郡本宮山 1♂ 12. V. 1974 (山地)
 高梁市臥牛山 1♂, 1♀ 3. V. 1974, 1♂, 1♀ 6. VI. 1976 (渡辺)
 川上郡西油野 8♂ 25. IV. 1976 (山地, 渡辺)
 カエデの花などで普通に得られる。
84. *A. (s. str) vestitus* (LEWIS, 1894) ケブカクロコメツキ
 勝田郡滝山 1ex. 5. VI. 1977 (渡辺)
 御津郡本宮山 1♀ 12. V. 1974 (山地)
 高梁市臥牛山 1♀ 6. VI. 1976, 2exs. 5. V. 1977 (渡辺)
85. *A. (s. str) ivanovi* (JACOBSON, 1913) クロコメツキ
 勝田郡那岐山 1ex. 14. XI. 1971 (山地)

Subfamily III ELATERINAE ナガコメツキ亜科

86. *Dolerosomus gracilis* (CANDEZE, 1873) キバネホソコメツキ
 苛田郡上齊原 2♂, 7♀ 17. V. 1970 (渡辺)
 高梁市臥牛山 6♂, 2♀ 29. IV. 1970 (渡辺)
 岡山市高松 1♀ 5. V. 1975 (渡辺)
 春花によく集まり、平地から山地にかけて極めて多産する。
87. *Neotrichophorus linteatus* (CANDEZE, 1873) コヒゲナガコメツキ
 高梁市臥牛山 1♂ 16. VIII. 1971 (渡辺) ……岸井同定
 本州では少ない種である。分布は、南に広がっている。
88. *N. junior* (CANDEZE, 1873) ヒゲナガコメツキ
 岡山市金甲山 1♀ 6. IV. 1977 (分島)
 倉敷市上東 1♂ 10. VI. 1970 (渡辺)
 倉敷市日差山 1♀ 7. VII. 1974 (渡辺)
 日差山の個体は、夜間に樹液で得られた。
89. *Elater sieboldi* CANDEZE, 1873 オオナガコメツキ
 勝田郡滝山 1ex. 2. VIII. 1973 (山地)
 高梁市臥牛山 1ex. 29. VII. 1973 (山地)
90. *Shirozulus bifoveolatus* (LEWIS, 1894) コガネホソコメツキ
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
91. *Vuilletus viridis* (LEWIS, 1894) ミドリヒメコメツキ
 苛田郡上齊原 3♂, 7♀ 17. V. 1970 (渡辺)
 高梁市臥牛山 1♂, 2♀ 29. IV. 1970, 1♂ 5. V. 1977 (渡辺)
 倉敷市連島 1♂ - 5. V. 1965 (三宅)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
 カエデなどの花によく集まる。

Subfamily XIV MELANOTINAE クシコメツキ亜科

92. *Melanotus (Spheniscosomus) restrictus* CANDEZE, 1865 オオクロクシコメツキ
 高梁市臥牛山 1ex. 20. V. 1973 (渡辺)
 倉敷市仁部 4ex. 18. V. 1969, 1ex. 26. V. 1973 (渡辺)
 倉敷市連島 1exs. 28. IV. 1963 (三宅)
93. *M. (S.) cete* CANDEZE, 1860 アカアシオオクシコメツキ
 英田郡後山 2exs. 13. VI. 1971 (渡辺)
 岡山市半田山 1ex. 14. VI. 1976 (渡辺)
 岡山市高松 1ex. 17. V. 1974 (山地)
 高梁市臥牛山 1ex. 29. IV. 1973 (渡辺)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
 極めて普通な種である。
94. *M. (s. str) koikei* KISHII et OHIRA, 1956 ヒラタクシコメツキ
 高梁市臥牛山 1♂, 1♀ 10. V. 1974 (山地)
 総社市美袋 1♂ 3. V. 1974 (井上)
 川上郡西油野 2♂ 5. V. 1975 (渡辺)
 カエデなどの花でよく得られる。
95. *M. (s. str) spernendus* CANDEZE, 1873 ナガチャクシコメツキ
 御津郡宇甘瀬 1ex. 4. V. 1975 (山地)
96. *M. (s. str) legatus* CANDEZE, 1860 クシコメツキ
 赤磐郡山陽町 29♂, 3♀ 10~12. VI. 1977 (渡辺)
 岡山市半田山 4♂, 3♀ 14. VI. 1976 (渡辺)
 高梁市臥牛山 1♀ 22. VI. 1973 (渡辺)
 倉敷市連島 1♂ 21. VI. 1975 (山地)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら. 1965)
 極めて普通の種で燈火によく集まる。また、樹液でも得られる。
97. *M. (s. str) lewisi* SCHENKING, 1927 ルイスクシコメツキ
 赤磐郡山陽町 2♂ 10~12. VI. 1977 (渡辺)
 岡山市半田山 1♂ 14. VI. 1976 (渡辺)
 前種に混って得られるがあまり多くない。
98. *M. (s. str) legatoides* KISHII, 1975 ヒメクシコメツキ
 岡山市金甲山 1♀ 6. VI. 1977 (分島) ……岸井同定
99. *M. (s. str) correctus correctus* CANDEZE, 1865 ヒラタクロクシコメツキ
 苫田郡三ヶ上 2♂ 1. VI. 1974 (渡辺)
 御津郡本宮山 1♂, 2♀ 12. V. 1974 (山地)
 新見市草間 1♀ 23. VI. 1970 (那須)
 高梁市臥牛山 4♂ 10. V. 1974 (山地)

100. *M. (s. str) annosus* CANDEZE, 1874 クロツヤクシコメツキ
 苫田郡三ヶ上 1♂, 1♀ 1. VI. 1974 (渡辺)
 御津郡宇甘瀬 1♂ 6. V. 1974 (山地)
 高梁市臥牛山 1♂ 26. V. 1974 (渡辺)
 總社市美袋 3♂ 12. V. 1970 (那須)
101. *M. (s. str) senilis* CANDEZE, 1865 クロクシコメツキ
 苫田郡三ヶ上 1♂, 1♀ 1. VII. 1973 (渡辺)
 赤磐郡山陽町 3♂, 1♀ 25. V. 1977 (渡辺)
 倉敷市山地 3♂ 2. V. 1969 (渡辺)
102. *M. (Kensakurus) seniculus* CANDEZE, 1873 チャバネクシコメツキ
 岡山市吉井 3♂ 17. IV. 1977 (渡辺)
103. *M. (K.) erythropygus* CANDEZE, 1894 コガタノクシコメツキ
 苫田郡三ヶ上 4♂, 1♀ 2. VI. 1974 (山地)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
104. *M. (K.) niponicus* OHIRA, 1964 オオマルクビクシコメツキ
 苫田郡三ヶ上 1♀ 1. VII. 1973 (渡辺) ……岸井同定
105. *M. (K.) fortnumi* CANDEZE, 1878 マルクビクシコメツキ
 苫田郡上齊原 1♂ 21. V. 1969 (那須) ……岸井同定
 阿哲郡雄山 1♂ 14. VI. 1970 (渡辺) ……同上
 總社市美袋 1♀ 18. V. 1974 (渡辺) ……同上

Subfamily XV AGRIOTINAE カバイロコメツキ亜科

106. *Sadoganus babai* OHIRA, 1965 ババムナビロコメツキ
 新見市小谷 3♂ 2. V. 1976 (山地, 渡辺)
107. *Ectinus insidiosus* (LEWIS, 1894) キアシクロムナボソコメツキ
 苫田郡上齊原 1ex. 21. V. 1969 (那須)
 同上 2exs. 23. V. 1976 (山地)
108. *E. exulatus* (CANDEZE, 1873) ムナボソコメツキ
 高梁市臥牛山 1♀ 9. VI. 1974 (山地)
 小田郡鬼ヶ獄 1♂ 3. V. 1974 (渡辺)
109. *E. sepes* (LEWIS, 1894) キアシムナボソコメツキ
 英田郡若杉 1♂ 8. V. 1977 (渡辺) ……岸井同定
 同上 2♂ 8. V. 1977 (奥田, 分島)
110. *E. sericeus* (CANDEZE, 1878) カバイロコメツキ
 苫田郡上齊原 5exs. 17. V. 1970 (渡辺)
 高梁市臥牛山 3exs. 6. VI. 1976 (渡辺)
 岡山市半田山 2exs. 17. IV. 1974 (山地)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

春に極めて普通に得られる。

111. *Ectinoides insignitus* (LEWIS, 1894) ヨツキボシコメツキ
 苫田郡上齊原 1ex. 16. V. 1971 (渡辺)
 御津郡宇甘瀬 1ex. 30. IV. 1973 (山地)
 高梁市臥牛山 2ex 30. IV. 1973 (渡辺)
 小田郡鬼ヶ獄 1ex. 25. IV. 1971 (山地)
 カエデやイヌザンショウなどの花で得られる。
112. *Agriotes (Agriodrastes) eleganturus* LEWIS, 1894 ヒメカバイロコメツキ
 英田郡若杉 1♂ 8. VI. 1974 (那須) ……岸井同定
 勝田郡滝山 1♂ 27. VII. 1973 (那須)
113. *Dalopius hirasanus* KISHII, 1966 ヒラナカグロヒメコメツキ
 英田郡若杉 35exs. 8. V. 1977 (奥田, 渡辺) ……岸井同定
 真庭郡毛無山 3exs. 27. VI. 1976 (山地) ……同上
 若杉ではブナ～ミズナラ林でササのビーティングにより、多数採取できた。
114. *D. patagiatus* (LEWIS, 1894) クロスジヒメコメツキ
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)

Subfamily XVI ADRASTINAE クチブトコメツキ亜科

115. *Lanecarus palustris* (LEWIS, 1894) ニセクチブトコメツキ
 英田郡若杉 1ex. 8. VI. 1974 (那須)
 新見市小谷 1♂ 2. V. 1976 (渡辺)
 河原の石下にいる種であるが多くない。
116. *Silesis musculus musculus* CANDEZE, 1873 クチブトコメツキ
 苫田郡三ヶ上 1ex. 9. VII. 1974 (山地)
 御津郡宇甘瀬 1ex. 19. VI. 1974 (山地)
 真庭郡新庄村 (すずむし Vol. 14-4, 重井ら, 1965)
117. *Glyphonyx dalopiooides* NAKANE, 1959 クロスジクチボソコメツキ
 岡山市大原 4exs. 28. V. 1977, 2exs. 4. VI. 1977 (渡辺) ……岸井同定
118. *G. bicolor* CANDEZE, 1873 キバネクチボソコメツキ
 真庭郡湯原 32exs. 12. VIII. 1977 (渡辺)
119. *G. illepidus* CANDEZE, 1873 クチボソコメツキ
 真庭郡湯原 65exs. 12. VIII. 1977 (渡辺)

Subfamily XVII CARDIOPHORINAE ハナコメツキ亜科

120. *Dycronychus (Platynychus) adjutor adjutor* (CANDEZE, 1873) アカアシハナコメツキ
 高梁市臥牛山 1♀ 22. VI. 1973, 1♀ 26. V. 1974, 1♂ 6. VI. 1976 (渡辺)
 岡山市大安寺 1♂, 1♀ 23. VI. 1976 (分島)

倉敷市二子 1♀ 15. VI. 1969 (渡辺)

121. *D. (P.) nothus* (CANDEZE, 1865) オオハナコメツキ

苦田郡上齋原 1ex. 16. V. 1976 (直海)

御津郡宇甘瀬 2exs. 28. IV. 1974 (山地)

高梁市広瀬 3exs. 9. V. 1971, 2exs. 25. V. 1975 (渡辺)

高梁市玉川 14exs. 29. IV. 1974 (井上)

普通種で川原などに多い。

122. *Cardiophorus pinguis* LEWIS, 1894 クロハナコメツキ

英田郡後山 1ex. 13. VI. 1971 (渡辺)

苦田郡上齋原 2exs. 21. V. 1969 (那須)

高梁市臥牛山 2exs. 10. V. 1974 (山地)

岡山市高松 2exs. 8. V. 1974 (山地)

普通種で分布は広い。

123. *Paracardiophorus pullatus* (CANDEZE, 1873) コハナコメツキ

英田郡若杉 2exs. 9. V. 1976 (山地) ……岸井同定

岡山市大原 2♀ 4. VI. 1977 (渡辺) ……同上

総社市満井 59exs. 18. IV. 1976 (渡辺) ……同上

極めて普通の種で川原の石下で最も多い種の一つである。ただ酷似種がいるので同定は難しい。

124. *P. sequens sequens* (CANDEZE, 1873) アカアシコハナコメツキ

倉敷市沙美 5exs. 6. II. 1976 (山地, 分島)

沿海性の種として知られている。

参 考 文 献

- 1) T. KISHII (1975) Some New Forms of Elateridae in Japan VIII. Bull. Heian H. S.
- 2) ———— (1976) Some New Forms of Elateridae in Japan IX. Bull. Heian H. S.
- 3) ———— (1977) Some New Forms of Elateridae in Japan XI. Bull. Heian H. S.
- 4) 大平仁夫 (1962) 日本産コメツキムシ科の幼虫の形態学的ならびに分類学的研究 (自刊)
- 5) ———— (1969~1971) 日本のコメツキムシ. 昆虫と自然
- 6) H. OHIRA (1971) New or Little known Elateridae from Japan, XIII. Kontyu 39(1).
- 7) 大平仁夫・中村慎吾・大沢省三 (1971) 広島県のコメツキムシ. 比和科学博物館報告
- 8) 中根猛彦 (1963) 原色昆虫大図鑑 (甲虫編). 北隆館
- 9) 中根・岸井 (1955) 原色日本昆虫図鑑 (上). 保育社
- 10) 重井博・青野孝昭・小野洋・近藤光宏・林憲一 (1965) 新庄村の昆虫調査報告 (その2). すずむし Vol. 14(4).

岡山・鳥取両県よりのナガクチキムシ 採集記録・追加報告

山 地 治

(〒700 岡山市幸町9-9)

岡山・鳥取両県よりのナガクチキムシはすでに水野弘造・青野孝昭両氏により報告されている。今回は前報において採集データの示されて無い種及び一方の県からの採集データの無い種について報告する。種名不詳の小型種があるが、今回は発表を見送った。筆者の採集品及び保管品については記入を省いた。番号は前報からの続きにさせていただいた。同定等色々教示していただいた水野弘造氏及び標本の提供を受けた方々に感謝する。

18. *Stolius vagepictus* LEWIS ヨツボシキバネナガクチキムシ
岡山県勝田郡滝山 1ex. 11. V. 1975
19. *Synstrophus macropthalmus* REITTER カツオガタナガクチキムシ
鳥取県八頭郡高鉢山 2exs. 18. VII. 1976
鳥取県大山(豪円山) 1ex. 29. VII. 1969 (K. AKAGI 1eg.)
20. *Holostrophus orientalis* LEWIS アヤモンヒメナガクチキムシ
岡山県臥牛山 1ex. 22. III. 1971 (A. WATANABE 1eg.) 腐朽切株中より;
1ex. 16. VII. 1971 (A. WATANABE 1eg.)
- 鳥取県八頭郡高鉢山 1ex. 18. VII. 1976
21. *Anisoxya ocularis* NOMURA et KATO オオメホソナガクチキムシ
岡山県岡山市高松 1ex. 28. VI. 1975
22. *Dircaeomorpha validicornis* LEWIS ムツモンナガクチキムシ
鳥取県八頭郡高鉢山 2exs. 18. VII. 1976 (A. WATANABE 1eg.)
23. *Perakianus hisamatsui* NAKANE クビアカホソナガクチキムシ
岡山県真庭郡湯原 1ex. 20. VII. 1966 (K. AKAEDA 1eg.)
(倉敷昆虫館保管)
- 水野弘造氏同定、本州初記録であろう。
(写真は*Perakianus hisamatsui* NAKANE クビアカホソナガクチキムシ)
24. *Phloeotrya femoralis* LEWIS モモキホソナガクチキムシ
鳥取県八頭郡高鉢山 2exs. 14. V. 1977 (水野弘造氏同定)
25. *Hypulus acutangulus* LEWIS トゲムネツツナガクチキムシ
鳥取県大山 1ex. 2. VII. 1973 (S. NASU 1eg.)
26. *Phryganophilus ruficollis rosti* HUBENTHAL ムネアカナガクチキムシ



岡山県苦田郡三ヶ上 1ex. 13. V. 1973; 1ex. 18. V. 1974

27. *Melandrya pictipennis* LEWIS イツモンナガクチキムシ
 鳥取県大山 1ex. 15. VI. 1974 (S. NASU 1eg.) (水野弘造氏保管)
 岡山県英田郡若杉 1ex. 8. VI. 1974 (S. NASU 1eg.) (倉敷昆虫館保管)
28. *Melandrya ordinaria* LEWIS ヘリアカナガクチキムシ
 鳥取県大山 1ex. 6. VI. 1971 (A. WATANABE 1eg.); 1ex. 10. VI. 1973 (A. WATANABE 1eg.)
29. *Melandrya modesta* LEWIS ミゾバネナガクチキムシ
 岡山県真庭郡毛無山 1ex. 27. VI. 1976
30. *Melandrya niponica* LEWIS オオナガクチキムシ
 鳥取県八頭郡高鉢山 1ex. (S. NASU 1eg.)

分布記録追加

9. *Phloeotrya rugicollis* MARSEUL クロホソナガ
 クチキムシ
 岡山県臥牛山 1ex. 24. VI. 1973; 1
 ex. 10. VI. 1972; 3exs.
 22. VI. 1973 (A. WATA
 NABE 1eg.); 2exs. 28.
 VI. 1973 (A. WATANABE 1eg.) ***Melandrya niponica* Lewis**
 オオナガクチキムシ
- 岡山県御津郡金川 1ex. 19. VI. 1974; 1ex. 26. VI. 1976
 岡山県御津郡久師井 1ex. 30. V. 1976
 岡山県笠岡市御獄山 1ex. 22. VI. 1975
13. *Serropalpus niponicus* LEWIS キイロホソナガクチキムシ
 鳥取県八頭郡高鉢山 4exs. 6. VII. 1977 (燈火飛来)
 岡山大学農学部応用昆虫学教室の方々により岡山市半田山より持帰ったアカマツ枯枝
 からの羽化脱出が確認されている。
14. *Ivania coccinea* LEWIS セアカナガクチキムシ
 岡山県苦田郡三ヶ上 1ex. 31. V. 1972; 1ex. 17. V. 1972; 2exs. 2. VI. 1974
 なお、前報において *Dircea* (?) sp. カタモンナガクチキムシ(仮称)とされていた
 ものは、*Dircaeomorpha elegans* SASAJI 1974 ヒゲブトナガクチキムシと決定されま
 した。



参考文献

1. 水野弘造・青野孝昭 (1969); 岡山・鳥取両県よりのナガクチキムシ採集記録. すずむ
 し18(1): 5~7.
2. 原色昆虫大図鑑 (第2巻) (北隆館: 1957)

高鉢山(鳥取県)のカミキリムシ追加報告

那 須 敏 (〒704 岡山市可知4-23-4)

山 地 治 (〒700 岡山市幸町9-9)

筆者等は高鉢山のカミキリムシについて、すでに144種を本誌113号に報告したが、その後12種の追加をみたのでここに報告します。報告にあたって採集記録を提供された黒田祐一・平田信夫・福田元信・渡辺昭彦各氏に御礼申しあげます。

(注) 1. 学名の前の番号は前報からの続きとした。

2. 両名の筆者が採集したものは採集者名を省いた。

3. 学名の前の*印は「東中国山地自然環境調査報告」における鳥取県の当地域の目録に載っていない種である。

高鉢山産カミキリムシ目録—追加報告

145. **Prionus sejunctus* HAYASHI ニセノコギリカミキリ

1ex. 6.VIII.'77 渡辺採. 燐火に飛来.

146. *Lemula rufithorax* Pic ピックニセハムシハナカミキリ

1ex. 1.V.'77 福田採. ウワミズザクラ花上より採集.

1ex. 14.V.'77, 4exs. 21.V.'77 カエデ花上より採集.

147. *Anoplodera scotodes* (BATES) ツヤケシハナカミキリ

1♂ 4.VI.'77 ゴトウヅル花上より採集.

148. **Necydalis solida* BATES オオホソコバネカミキリ

1♀ 19.VI.'77 黒田採. 伐採枝上.

149. *Allotraeus sphaerioninus* BATES トビイロカミキリ

2exs. 4.VI.'77 ゴトウヅル花上より採集.

150. **Ceressium holophaeum* BATES ヨコヤマヒメカミキリ

5exs. 6.VIII.'77 夜間燈火に飛來したものを採集.

151. **Motorchus kojimai* (MATSUMITA) コジマヒゲナガカミキリ

1♂ 21.V.'77 カエデ花上より採集.

152. *Dere thoracica* WHITE ホタルカミキリ

1ex. 17.VIII.'77 福田採. アカメガシワ花上より採集.

153. **Neosybra cibrella* BATES ヒメアヤモンチビカミキリ

1ex. 17.VIII.'77 福田採. 叩き網にて採集.

154. *Acalolepta luxuriosa* (BATES) センノキカミキリ

many exs. 17.VIII.'77 福田採. タラの木に多数止っているものを採集.

155. **Miccolamia cleroides* BATES カッコウカミキリ

- 1ex. 26. VI. '77 福田採. 叩き網にて採集.
156. *Saperda tetrastigma* BATES ムネモンヤツボシカミキリ
1ex. 13. VI. '76 平田採.
- (53). *Palaeocallidium rufipenne* (MOTSCHULSKY) ヒメスギカミキリ
♂ 21. V. '77 スギの材より採集. 前報においては目撃例のみであったが、今回採集することができた.
-

臥牛山のマルモンサビカミキリ

臥牛山より未記録のマルモンサビカミキリ *Pterolophia angusta* (BATES) が出雲善浩氏により採集されているので報告します.

II. 1977 大手門付近にて枯枝を採取.

3exs. 7~10. V. 1977 羽化脱出

発表を許された出雲善浩氏に感謝します. (山地 治)

リンゴドクガの幼虫をレンゲツツジから発見

筆者は1977年7月19日、岡山県阿哲郡神郷町新郷小学校の校庭のレンゲツツジ *Phodendoron japonica* SURING の葉上からリンゴドクガ *Dasychira pseudabietis* BUTLER の終令幼虫1頭を得た. この木は校庭の独立樹で、その食痕からみて若令からこの木だけで育ったものと考えられた. 幼虫はレンゲツツジで飼育したところ、7月26日葉間にうすい繭をつくって蛹化した.

保育社の蛾類幼虫図鑑では、食草として、バラ科、カエデ科、ヤナギ科及びブナ科があげられ、著者服部氏は *Quercus* 属以外では採集したことがない、と書かれている. 新食樹と思われる所以報告する. (風早保男)

燈火に交尾飛翔するシロフフユエダシャク

1977年2月28日総社市上林、国分寺駐車場の水銀燈に飛来する蛾を探集したが、ネットの中に交尾中のシロフフユエダシャク *Erannis dira* BUTLER の1 pair があった. 写真のように毒管(四塩化炭素)に入れて死なせた後も結合したままであった. ♂は翅の斑紋も明らかでないように傷んでいたが、♀はきわめて新鮮であった.

交尾飛翔が習性としてあるのか、たまたま食樹上で交尾した♂が燈火の誘惑に負けて飛来したものか、推定しかねるが、もし後者とすれば、再び食樹上にかかるのは困難であろうと思われる.

(風早保男)



苦田郡上斎原村の蛾

道 信 順

(〒708 津山市田町119)

昭和48年～50年（1971～1973）まで上斎原村において、昆虫の調査をする機会をもちましたので紙上をかりて報告します。

上斎原の昆虫については一部の報文が見られますが、ここでは蛾について岡山県北部県境地帯の昆虫相の解明に役立てばと筆をとりました。

学名は榎本精二氏の手をわざらわせました。深謝いたします。

SPHINGIDAE スズメガ科

1. *Acherontia styx crathis* ROTHSCILD et JORDAN メンガタスズメ
22. VII. '71
2. *Agrius convolvuli* LINNAEUS エビガラスズメ
5. IX. '70
3. *Meganoton scribae* AUSTAUT エゾシモフリスズメ
25. VII. '59 ; 16. VI. '71 ; 27. VIII. '70
4. *Psliogramma increta* WALKER シモフリスズメ
22. VII. '71
5. *Hyloicus caligineus* BUILER クロスズメ
29. V. '70 ; 31. V. '71
6. *Kentochrysalis consimilis* ROTHSCILD et JORDAN クロテンケンモンスズメ
31. V. '71 ; 24. VI. '71
7. *Oxambulyx ochracea* BOTLER ホソバスズメ
14. VI. '70 ; 8. VII. '70 ; 10. VII. '71 ; 5. IX. '70
8. *Oxambulyx sericeipennis tobii* INOUE アジアホソバスズメ
22. VI. '70
9. *Oxambulyx schaffelbergeri* BREMER et GREY モンホソバスズメ
1. VII. '70 ; 10. VI. '71
10. *Oxambulyx japonica* ROTHSCILD フトオビホソバスズメ
22. V. '70 ; 16. VI. '71 ; 1. VII. '70
11. *Clanis bilineata tsingtauica* MELL トビイロスズメ

25. VII. '70
12. *Marumba gaschkevitschii echephon* BOISDUVAL モモスズメ
16. VI. '71 ; 24. VI. '70
13. *Marumba sperchioides sperchioides* MENETRIES クチバスズメ
22. VI. '70 ; 22. VII. '70 ; 7. VIII. '70
14. *Parum colligata* WALKER ギンボシスズメ
5. VIII. '70
15. *Langia zenzeroides nawai* RONDSCHILD et JORDAN オオシモフリスズメ
17. IV. '72
16. *Callambulyx tatarinovi gabiae* BRYK ウンモンスズメ
1. VII. '70 ; 28. VII. '70
17. *Smerinthus planus* WALKER ウチスズメ
22. V. '70 ; 10. VII. '70
18. *Philosphingia dissimilis* BREMER エゾスズメ
24. VI. '70
19. *Hemaris radians* WALKER スキバホウジャク
8. VIII. '57
20. *Hemaris fuciformis affinis* BREMER クロスキバホウジャク
28. VII. '70
21. *Ampelophaga rubiginosa* BREMER et GREY クルマスズメ
22. VII. '70 ; 25. VII. '59
22. *Acosmeryx castanea* RONDSCHILD et JORDAN ブドウスズメ
9. VII. '70
23. *Acosmeryx naga* MOORE ハネナガブドウスズメ
22. VI. '70
24. *Gurelca himachala sangaica* BUTLER ホシヒメホウジャク
22. VII. '71
25. *Macroglossum pyrrhostictum* BUTLER ホシホウジャク
5. VIII. '70
26. *Pergesa elpenor lewisi* BUTLER ベニスズメ
12. VI. '70
27. *Theretra japonica de l'ORZA* コスズメ
16. VI. '71 ; 8. VII. '70
28. *Theretra nessus* DRURY キイロスズメ
22. VI. '70 ; 27. VII. '70 ; 26. VIII. '70
29. *Rhagastis mongoliana* BUTLER ビロウドスズメ
22. VI. '70

上記の他にヒメクチバスズメ・ヒサゴスズメ・コウチスズメの記録が竹内幸夫氏・

池田昭彦氏・渡辺昭彦氏によりそれぞれなされている。

SATURNIIDAE ヤママユガ科

1. *Rhodinia fugax fugax* BUTLER ウスタビガ
14. XI. '72 ; 21. XI. '70 ; 26. XI. '70
3. *Antheraea yamamai yamamai* GUERIN-MENEVILLE ヤママユ
12. IX. '71
3. *Caligula boisduvalii jonasii* BUTLER ヒメヤママユ
12. X. '72
4. *Dictyoploca japonica japonica* BUTLER クスサン
12. IX. '71
5. *Aglia tau microtau* INOUE エゾヨツメ
26. IV. '72 ; 22. V. '70
6. *Actias artemis aliena* BUTLER オオミズアオ
31. V. '71 ; 24. VI. '70 ; 22. VII. '71 ; 14. XI. '72

上記の他にシンジュサンが小学生によって採集されている。

AMATIDAE カノコガ科

1. *Amata (Syntomis) germana nigricauda* MIYAKE キハダカノコ
30. VI. '71

NOLIDAE コブガ科

1. *Meganola formosana* WHELMAN et WEST トビモンシロコブガ
14. VI. '71

ARCTIIDAE ヒトリガ科

LITHOSIINAE コケガ亜科

1. *Agylla collitoides* BUTLER キマエクロホソバ
22. VI. '70
2. *Paraona staudingeri* ALDHERAKY クビワウスグロホソバ
22. VI. '70 ; 3. VII. '72
3. *Agrisius fuliginosus japonicus* LEECH ゴマフオオホソバ
10. VI. '71
4. *Chionaema hamata* WALKER アカスジシロコケガ
8. VII. '70 ; 25. VII. '59
5. *Melanaema venata* BUTLER オオベニヘリコケガ
22. VI. '70
6. *Miltochrista striata* BREMER et GREY スジベニコケガ

8. VI. '71

ARCTIINAE ヒトリガ亜科

1. *Spilarctia seriatopunctata* MOTSHULSKY スジモンヒトリ
13. VII. '58
2. *Spilarctia inaequalis* f. *infernalis* BUTLER クロバネヒトリ
2. VII. '70
3. *Spilarctia imparilis* BUTLER クワゴマダラヒトリ
27. VIII. '70
4. *Spilarctia lewisi* BUTLER クロフシロヒトリ
11. VI. '71 ; 10. VIII. '70
5. *Spilarctia bifasciata* BUTLER フタスジヒトリ
12. VI. '70 ; 8. VII. '70
6. *Spilarctia lubricipeda sangaica* WALKER キハラゴマダラヒトリ
17. VI. '70
7. *Spilarctia nivea* MÉNÉTRIES シロヒトリ
25. VII. '59
8. *Rhyparioides amurensis amurensis* BREMER ホシベニシタヒトリ
3. VII. '72 ; 13. VII. '58
9. *Rhyparioides nebulosa* BUTLER ベニシタヒトリ
25. VII. '59 ; 5. IX. '70

AGARISTIDAE トラガ科

1. *Asteropetes noctuina* BUTLER ヒメトラガ
10. VI. '71

NOCTUIDAE ヤガ科

PANTHEINAE ウスベリケンモン亜科

1. *Anacronicta nitida* BUTLER ウスベリケンモン
24. VI. '70
2. *Trichosea champa* MOORE キバラケンモン
21. VIII. '71 ; 17. IX. '72
3. *Colocasia mus* OBERTHÜR ネグロケンモン
25. VI. '72

ACRONICTINAE ケンモン亜科

1. *Belciades virens* BUTLER アオケンモン
24. VI. '71 ; 14. VII. '72 ; 30. VII. '70

2. *Moma alpium* OSBECK ゴマケンモン
22. VI. '70
3. *Nacna malachitis* OBERTHUR ニッコウアオケンモン
14. VI. '71 ; 21. VII. '71 ; 13. XI. '72
4. *Gerbathodes ypsilon* BUTLER ヒトテンケンモン
8. VI. '72
5. *Acronicta catocaloida* GRAESER キシタケンモン
22. VI. '70 ; 22. VII. '70
6. *Acronicta major* BREMER オオケンモン
24. VI. '71
7. *Acronicta adaucta* WARREN サクラケンモン
8. VI. '71

上記以外にスギタニゴマケンモンの記録がある。

BRYOPHILINAE キノコヨトウ亜科

1. *Lophonycta confusa* LEECH アミメキノコヨトウ
16. VI. '62 ; 9. VII. '66

NOCTUINAE モンヤガ亜科

1. *Agrotis ipsilon* HUFNAGEL タマナヤガ
22. VI. '70
2. *Ochropleura praecox flavomaculata* GRAESER ホソアオバヤガ
22. VI. '70
3. *Sineugrapha exusta* BUTLER カバスジヤガ
25. VII. '59
4. *Sineugrapha dysgnosta* BOURSIN ウスイロカバスジヤガ
13. VII. '58
5. *Diarsia deparca* BUTLER コウスチャヤガ
26. X. '72 ; 17. XI. '72 ; 20. XI. '70
6. *Xestia (s. str) c-nigrum* LINNAEUS シロモンヤガ
22. VI. '70
7. *Xestia (s. str) semiherbida decorata* BUTLER ハイイロキシタヤガ
18. VI. '71 ; 25. VII. '59
8. *Cerastis pallescens* BUTLER カギモンヤガ
17. IV. '72 ; 14. IV. '71
9. *Anaplectoides virens* BUTLER オオアオバヤガ
22. VII. '71
10. *Xestia (s. str) efflorescens* BUTLER キシタミドリヤガ

25. VII. '59

HADENINAE ヨトウガ亜科

1. *Hadena rivularis mandarina* LEECH フサクビヨトウ
16. VII. '71
2. *Orthosia evanida* BUTLER カバキリバ
14. IV. '71 ; 8. V. '72 ; 26. X. '72
3. *Orthosia lizetta* BUTLER クロミミキリガ
14. IV. '71
4. *Orthosia limbata* BUTLER シロヘリキリガ
14. IV. '71 ; 23. IV. '71 ; 27. X. '72
5. *Orthosia odiosa* BUTLER チャイロキリガ
17. IV. '72
6. *Orthosia gothica askoldensis* STAUDINGER カシワキリガ
17. IV. '72
7. *Orthosia carnipennis* BUTLER アカバキリガ
17. IV. '72 ; 2. VII. '70
8. *Panolis flammea japonica* DRAUDT マツキリガ
14. IV. '71 ; 8. V. '72
9. *Clavipalpula aurariae* OBERTHUR キンイロキリガ
17. IV. '72
10. *Egira saxeae* LEECH ケンモンキリガ
17. IV. '72 ; 14. IX. '71
11. *Perigrapha hoenei* PUNGEIER スギタニキリガ
17. IV. '72
12. *Senta stenoptera* STAUDINGER ナカスジキヨトウ
16. VII. '71

CUCULLIINAE セダカモクメ亜科

1. *Cucullia maculosa* STAUDINGER ハイイロセダカモクメ
4. VII. '70
2. *Cucullia elongata* BUTLER キクセダカモクメ
8. VI. '72 ; 8. VII. '70
3. *Xylena formosa* BUTLER キバラモクメキリガ
13. XII. '72
4. *Sugitania lepida* SUGI スギタニモンキリガ
26. XI. '70
5. *Conistra fletcheri* SUGI テンスジキリガ

17. XI. '72 ; 26. XI. '70
6. *Telorta divergens* BUTLER ノコメトガリキリガ
26. X. '72
7. *Telorta edentata* LEECH キトガリキリガ
26. X. '72 ; 20. XI. '70
8. *Telorta acuminata* BUTLER ウスキトガリキリガ
26. IX. '70
9. *Valeriodes viridimacula* GRAESER アオバハガタヨトウ
16. X. '72 ; 27. X. '72
10. *Meganephria funesta* LEECH ホソバハガタヨトウ
17. X. '72
11. *Blepharita melanodonta* HAMPSON オオハガタヨトウ
12. X. '72 ; 26. X. '72
12. *Daseochaeta viridis* LEECH ケンモンミドリキリガ
26. X. '72

AMPHIPYRINAE ガラスヨトウ亜科

1. *Actinotia intermedia* BREMER コモクメヨトウ
16. VII. '71 ; 14. IX. '70
2. *Triphaenopsis lucilla* BUTLER シロホシキシタヨトウ
8. VIII. '58
3. *Bambusiphila vulgaris* BUTLER ハジマヨトウ
25. VII. '59
4. *Gortyna fortis* BUTLER ゴボウトガリヨトウ
17. X. '72 ; 27. X. '72
5. *Euplexia lucipara exotica* STRAND アカガネヨトウ
17. V. '70 ; 23. IV. '71
6. *Euplexia illustrata* GRADSER シラオビアカガネヨトウ
22. VI. '70
7. *Trachea atriplicis gnoma* BUTLER シロスジアオヨトウ
24. VI. '70
8. *Trachea auriplena lucia* BUTLER オオシロテンアオヨトウ
24. VI. '71
9. *Axylia putris* LINNAEUS モクメヨトウ
2. VI. '71
10. *Chytonix subalbonotata* SUGI ホソバネグロヨトウ
23. IV. '71
11. *Chytonix fodinae* OBERTHÜR セアカヨトウ

3. VI.'71
12. *Amphipyra schrenckii* MÉNÉTRIÈS ツマジロカラスヨトウ
22. VII.'71
 13. *Amphipyra monolitha surnia* FELDER オオシマカラスヨトウ
22. VII.'71
 14. *Antha grata* BUTLER ハイイロモクメヨトウ
24. VI.'71 ; 8. VII.'70
 15. *Cosmia achatina* BUTLER シマキリガ
3. VII.'71
 16. *Goonallica virgo* TREITSCHKE ウスムラサキヨトウ
22. VI.'70
 17. *Virgo batanidia* BUTLER トガリヨトウ
13. IX.'72
 18. *Prometopus flavicollis* LEECH キクビヒメヨトウ
12. VI.'71 ; 24. VI.'71
 19. *Hadjina biguttula* MOTSCHULSKY フタテンヒメヨトウ
22. VI.'70
 20. *Spodoptera litura* FABRICIUS ハスモンヨトウ
14. IX.'70
 21. *Dysmilichia gemella* LEECH モンオビヒメヨトウ
8. VIII.'70
 22. *Athetis stellata* HAMPSON ヒメサビスジヨトウ
14. IX.'70 ; 26. X.'72
 23. *Callopistria repleta* WALKER マダラツマキリヨトウ
14. IX.'70
 24. *Callopistria juventina obscura* BUTLER ムラサキツマキリヨトウ
8. VI.'71 ; 2. VII.'70
 25. *Sphragifera sigillata* MÉNÉTRIÈS マルモンシロガ
26. VI.'71

EUTELIINAE フサヤガ亜科

1. *Eutelia grabczewskii* PUNGELER ニッコウフサヤガ
22. VI.'70 ; 24. VI.'71 ; 22. VII.'71
2. *Eutelia geyeri* C. et R. FELDER フサヤガ
14. VII.'72 ; 3. IX.'71 ; 12. X.'72 ; 26. IX.'70

SARROTHRIPIPINAЕ キノカワガ亜科

1. *Blenina senex* BUTLER キノカワガ

16. X. '72
 2. *Characoma ruficirra* HAMPSON ネスジキノカワガ
 12. V. '71
 3. *Gadritha inexacta uniformis* WARREN ナンキンキノカワガ
 26. X. '72

CHLOEPHORINAE リンガ亜科

1. *Hypocarea conspicula* LEECH カバイロリンガ
 26. VIII. '70
 2. *Earias roseifera* BUTLER ベニモンアオリンガ
 14. VI. '71
 3. *Pseudoips sylpha* BUTLER アカスジアオリンガ
 25. VII. '59
 4. *Pseudoips fagana* FABRICIUS アオスジアオリンガ
 25. VII. '59; 22. VII. '70; 8. VI. '71; 18. VI. '71
 5. *Ariolica argentea* BUTLER ギンボシリリンガ
 4. IX. '70

EUSTROTHINAE コヤガ亜科

1. *Lithacodia pygarga* HUFNAGEL シロフコヤガ
 18. VI. '71
 2. *Maliattha signifera* WALKER ヒメネジロコヤガ
 3. VII. '71
 3. *Micarda pulchra* BUTLER フタホシコヤガ
 12. VI. '71
 4. *Phyllophila oblitterata cretacea* BUTLER ヨモギコヤガ
 12. VI. '71
 5. *Perynea subrosea* BUTLER ウスベニコヤガ
 10. IX. '70

PLUSIINAE キンウワバ亜科

1. *Diachrysia coreae* STRAND リョクモンオオキンウワバ
 13. IX. '72
 2. *Macdunnoughia purissima* BUTLER ギンモンシロウワバ
 13. IX. '72
 3. *Acanthoplusia albostriata* BREMER et GREY エゾギクキンウワバ
 26. VIII. '70
 4. *Acanthoplusia agnata* STAUDINGER ミツモンキンウワバ

8. VIII. '70

5. *Plusia japonibia* BRYK イネキンウワバ
14. VI. '71 ; 28. VII. '70
6. *Erythroplusia pyropia* BUTLER セアカキンウワバ
24. VI. '71 ; 16. VII. '71
7. *Erythroplusia rutilifrons* WALKER ギンスジウワバ
12. VI. '71 ; 24. VI. '71
8. *Abrostola trigemina* WERNEBURG イラクサマダラウワバ
3. VII. '71
9. *Abrostola abrostolina* BUTLER ユミガタマダラウワバ
2. VI. '71

CATOCALINAE シタバガ亜科

1. *Catocala nivea* BUTLER シロシタバ
21. VIII. '71
2. *Catocala dula* BREMER オニペニシタバ
22. VII. '71
3. *Catocala electa zalmunna* BUTLER ペニシタバ
21. VIII. '71 ; 26. VIII. '71 ; 3. IX. '71
4. *Catocala patala Cet RFELDER* キシタバ
21. VIII. '71 ; 17. X. '72
5. *Catocala fulminea xarippe* BUTLER ワモンキシタバ
14. VII. '72 ; 16. VII. '71
6. *Catocala duplicata* BUTLER マメキシタバ
27. VIII. '70
7. *Enmonodia vespertilio* FABRICIUS カキバトモエ
21. VIII. '71
8. *Metopta rectifasciata* MÉNÉTRIÈS シロスジトモエ
24. VI. '70
9. *Erebus ephesperis* HUBNER オオトモエ
10. VI. '71
10. *Adris amurensis* STAUDINGER アケビコノハ
16. VI. '71 ; 21. VIII. '71 ; 26. VIII. '71
11. *Lagoptera juno* DALMON ムクゲコノハ
2. VIII. '71 ; 26. VIII. '71
12. *Dysgonia maturata* WALKER ムラサキアシブトクチバ
21. VIII. '71
13. *Dysgonia dulcis* BUTLER ヒメアシブトクチバ

12. VI. '71 ; 22. VI. '70
14. *Mocis annetta* BUTLER ウンモンクチバ
22. VI. '70 ; 26. VI. '71
15. *Melapia electaria* BREMER ユミモンクチバ
25. VII. '59
16. *Blasticorhinus ussuriensis* BREMER コウンモンクチバ
25. VII. '59
17. *Plusiodonta casta* BUTLER マダラエグリバ
24. VI. '71
18. *Anomis mesogona* WALKER アカキリバ
26. X. '72
19. *Scoliopteryx libatrix* LINNAEUS ハガタキリバ
17. X. '72 ; 27. X. '72
20. *Hypocala rostrata* FABRICIUS タイワンキシタクチバ
22. VI. '70
21. *Daddala lucilla* BUTLER ハガタクチバ
21. VIII. '71
22. *Symploides picta* BUTLER シラフクチバ
25. VII. '59 ; 27. X. '71
23. *Hypersymploides astrigena* BUTLER ヒメアヤクチバ
31. V. '71
24. *Chrysorithrum amatum* BREMER et GREY カクモンキシタバ
22. VI. '70 ; 3. VII. '72
25. *Erygia apicalis* GUENEE アカテンクチバ
8. VI. '71
26. *Plecoptera insignita* WILEMAN アトヘリヒトホシアツバ
18. VI. '71
27. *Lygephila lilacina* BUTLER ヒメクビグロクチバ
13. VII. '58
28. *Colobochyla salicalis cinerea* BUTLER キンスジアツバ
14. VI. '71
29. *Lophomilia polybapta* BUTLER キマダラツマキリアツバ
22. VI. '70
30. *Pangrapta albistigma* HAMPSON ツマジロツマキリアツバ
13. VII. '58
31. *Pyralidesthes amata* BUTLER ベニスジアツバ
3. VII. '71

HYPENINAE アツバ亜科

1. *Bomolocha stygiana* BUTLER ヤマガタアツバ
18. VI. '71
2. *Bomolocha sp.* ハングロアツバ
18. VI. '71
3. *Latirostrum japonicum* MIYAKE テングアツバ
17. VI. '72 ; 16. X. '72

HERMINIINAE クルマアツバ亜科

1. *Badiza notigera* BUTLER シラナミクロアツバ
25. VII. '59
2. *Simplicia rectalis sicca* BUTLER アカマエアツバ
19. X. '72
3. *Simplicia niphona* BUTLER オオアカマエアツバ
14. IX. '70 ; 17. XI. '72
4. *Zanclognatha fumosa* BUTLER ツマオビアツバ
18. VI. '71 ; 22. VI. '70
5. *Paracolax glaucinalis* DENIS et SCHIFFERMULLER クルマアツバ
12. VI. '71 ; 18. VI. '71
6. *Trisateles trilinealis* BREMER ミスジアツバ
18. VI. '71
7. *Anathata wilemani* SUGI クロオビアツバ
22. VI. '70
8. *Hydrillodes repugnalis* WALKER ソトウスモンアツバ
17. IV. '72 ; 12. V. '71

NOTODONTIDAE シャチホコガ科

1. *Neostauropus basalis* MOORE ヒメシャチホコ
8. VI. '72 ; 14. VI. '71
2. *Lampronadata cristata* BUTLER セダカシャチホコ
24. VI. '70
3. *Lampronadata splendida* OBERTHÜR アオセダカシャチホコ
22. VI. '70 ; 1. VII. '70
4. *Fentonnia ocypete* BREMER ホソバシャチホコ
28. VII. '70
5. *Harpyia lanigera* BUTLER ナカグロモクメシャチホコ
2. VI. '70 ; 9. VI. '72

6. *Cerura erminea menciana* MOORE オオモクメシャチホコ
14. VI. '71 ; 24. VI. '70
7. *Neocerura kandyia tattakana* MATSUMURA タッタカモクメシャチホコ
16. VI. '71
8. *Quadricalcarifera pryeri* LEECH プライヤアオシャチホコ
18. VI. '71 ; 24. VI. '70
9. *Quadricalcarifera punctella* MOTSCHULSKY ブナアオシャチホコ
18. VI. '71 ; 26. XI. '70
10. *Nericoides bipartita* BUTLER ナカスジシャチホコ
26. VIII. '71 ; 25. VII. '59
11. *Urodonta branickii* OBERTHÜR クロテンシャチホコ
30. V. '72 ; 9. VI. '72
12. *Urodonta viridimixta* BREMER シロテンシャチホコ
8. VI. '72 ; 28. VIII. '70
13. *Gangaridopsis citrina* WILEMAN アカシャチホコ
10. VI. '71
14. *Uropyia meticulodina* OBERTHÜR ムラサキシャチホコ
31. V. '71
15. *Peridea graeseri* STAUDINGER イシダシャチホコ
27. VIII. '70
16. *Peridea lativitta* WILEMAN アカネシャチホコ
2. VI. '72
17. *Peridea gigantea* BUTLER ナカキシャチホコ
10. VI. '71
18. *Peridea moltrechti* OBERTHÜR マルモンシャチホコ
27. VIII. '70
19. *Suzukia cinerea cinerea* BUTLER オオウグイスシャチホコ
10. VI. '71 ; 21. VIII. '71 ; 4. VIII. '70
20. *Allodontia sikkima leucodera* STAUDINGER ツマジロシャチホコ
12. VI. '71 ; 28. VIII. '70
21. *Ptilodon hoegei* GRAESER スジエグリシャチホコ
26. VIII. '70
22. *Ptilodon jezoensis longipennis* INOUE ナガエグリシャチホコ
24. VI. '70
23. *Ptilodon pryeri* BUTLER プライヤエグリシャチホコ
18. VI. '71 ; 24. VI. '70
24. *Topenteryx velutina* OBERTHÜR タテスジエグリシャチホコ
26. VIII. '70

25. *Shaka atrovittata* BREMER クビワシャチホコ
30. V.'72
26. *Microphalera grisea* BUTLER ハイイロシャチホコ
26. VII.'71
27. *Mimodonta albicosta* MATSUMURA マエジロシャチホコ
22. VII.'70 ; 29. VII.'70
28. *Drymonia japonica* WILEMAN コトビモンシャチホコ
31. V.'71 ; 24. VI.'71 ; 8. VII.'70 ; 25. VII.'59
29. *Epodonta lineata* OBERTHÜR ヤスジシャチホコ
8. VII.'70
30. *Phalerodonta manleyi* LEECH オオトビモンシャチホコ
12. X.'70 ; 17. X.'72
31. *Zaranga permagna* BUTLER アオバシャチホコ
10. VI.'71 ; 26. VII.'71
32. *Neopheosia fasciata japonica* OKANO ヘリスジシャチホコ
22. VII.'71 ; 29. VII.'70
33. *Lophocosma atriplaga* STAUDINGER クロスジシャチホコ
26. VII.'70
34. *Hupodonta pulcherrima corticalis* BUTLER カバイロモクメシャチホコ
14. VII.'72 ; 22. VII.'70 ; 29. VII.'70
35. *Hybocampa umbrosa* STAUDINGER, 1892 ギンシャチホコ
8. VI.'72 ; 10. VI.'72
36. *Yamatoa cinnamomea* LEECH ギンボシシャチホコ
2. VI.'71
37. *Spatialis doerriesi* GRAESER, 1888 ウスイロギンモンシャチホコ
25. VII.'59
38. *Spatialis jezoensis* WILEMAN et SOOTH エゾギンスジシャチホコ
26. VI.'71 ; 26. VII.'70
39. *Neodrymonia delia* LEECH フタジマネグロシャチホコ
14. VII.'72
40. *Clostera anachoreta* FABRICIUS ツマアカシャチホコ
12. VI.'71 ; 3. IX.'71
41. *Gonoclostera timonides latipennis* BUTLER クワゴモドキシャチホコ
12. VI.'70 ; 17. VI.'71 ; 2. VII.'70
42. *Micromelalopha troglodyta* GRAESER ヒナシャチホコ
14. VI.'71

LYMANTRIIDAE ドクガ科

1. *Dasychira pseudabietis* BUTLER リンゴドクガ
29. V. '70 ; 18. VI. '71 ; 22. VII. '61
2. *Dasychira conjuncta* WILEMAN ススキドクガ
8. VII. '70 ; 1. VI. '62 ; 4. IX. '70
3. *Dasychira locuples confusa* BREMER マメドクガ
2. VII. '70
4. *Dasychira eurydice* BUTLER ブドウドクガ
21. VIII. '71
5. *Orgyia thyellina* BUTLER ヒメシロモンドクガ
22. VII. '71
6. *Arctornis alba chichibense* MATSUMURA ヒメシロドクガ
25. VII. '59
7. *Numenes albofascia albofascia* LEECH シロオビドクガ
13. VII. '58
8. *Lymantria dispar japonica* MOTSCHULSKY マイマイガ
24. VI. '71
9. *Euproctis piperita* OBERTHÜR キドクガ
27. VII. '70

LASIOCAMPIDAE カレハガ科

1. *Gastropacha populifolia* ESPER ホシカレハ
8. VII. '70 ; 25. VII. '59
2. *Gastropacha quercifolia cerridifolia* C. et R. FELDER カレハガ
2. VII. '70 ; 24. VI. '70 ; 13. IX. '72
3. *Malacosoma neustria* LINNAEUS オビカレハ
13. VII. '58
4. *Poecilocampa populi tamanukii* MATSUMURA タマヌキカレハ
26. XI. '70
5. *Philudoria potatoria* LINNAEUS ヨシカレハ
25. VII. '59
6. *Odonestis pruni japonensis* TAM リンゴカレハ
13. VII. '58
7. *Phyllodesma japonica japonica* LEECH ヒメカレハ
9. V. '72
8. *Dendrolimus spectabilis* BUTLER マツカレハ
25. VII. '59 ; 22. VII. '71 ; 18. VI. '71

EUPTEROTIDAE オビガ科

1. *Apha tychoona tychoona* BUTLER オビガ
2. VII. '70

BOMBYCIDAE カイコガ科

1. *Bombyx mori mandarina* MOORE クワコ
2. VI. '71
2. *Oberthiaria fulcigera* BUTLER オオクワゴモドキ
29. V. '70 ; 16. VI. '72 ; 26. VII. '71
3. *Pseudandraca gracilis* BUTLER カギバモドキ
14. IV. '71

THYATIRIDAE トガリバガ科

1. *Lithocaris maxima* LEECH ナガトガリバ
12. VI. '71 ; 8. VI. '72 ; 27. VII. '70
2. *Thyatira batis japonica* WERNY モントガリバ
17. VI. '70
3. *Horithyatira pryeri* BUTLER ウスベニトガリバ
23. IV. '71
4. *Habrosyne pyritoides derasoides* BUTLER アヤトガリバ
22. VI. '70
5. *Tethea ampliata* BUTLER オオバトガリバ
2. VI. '71
6. *Tethea intensa* BUTLER ホソトガリバ
22. VII. '71
7. *Parapsestis umbrosa* WILEMAN ウスジロトガリバ
13. VII. '58
8. *Epipsestis ornata* LEECH ムラサキトガリバ
17. X. '72
9. *Mimopsestis basalis* WILEMAN ネグロトガリバ
1. V. '72 ; 24. VI. '71

DREPANIDAE カギバ科

1. *Macrauzata maxima maxima* INOUE スカシカギバ
3. VII. '71
2. *Callicilix abraxata abraxata* BUTLER マダラカギバ
24. V. '71
3. *Deroca inconclusa phasma* BUTLER ホシベッコウカギバ
30. VI. '61

1. *Drepana curvatula acuta* BUTLER オビカギバ
17. VI. '70
5. *Callidrep ana patrana* MOORE ギンモンカギバ
14. IX. '70
6. *Oreta turyis* BUTLER クロスジカギバ
22. VI. '70

GEOMETRIDAE シャクガ科

OENOCHROMINAE ホシシャク亜科

1. *Inurois punctigera* PROUT クロテンフユシャク
13. XII. '72 ; 22. XII. '71
2. *Inurois fletcheri* INOUE ウスバフユシャク
4. XII. '72

GEOMETRINAE アオシャク亜科

1. *Terpnia (Pachista) superans* BUTLER オオアヤシャク
22. VI. '70 ; 24. VI. '70 ; 25. VII. '59
2. *Aracima muscosa muscosa* BUTLER アトヘリアオシャク
18. VI. '71
3. *Tanaorhinus reciprocata confuciaria* WALKER カギバアオシャク
24. VI. '71 ; 21. VIII. '71
4. *Mixochlora vittata prasinus* BUTLER ヒメカギバアオシャク
26. X. '72
5. *Geometra (Megalochlora) dieckmanni* GRAESER カギシロスジアオシャク
8. VI. '71
6. *Geometra (Megalochlora) valida* C. et R. FELDER クロスジアオシャク
8. VII. '70
7. *Comibaena (Comibaena) argentataria* LEECH ギンスジアオシャク
26. VI. '71
8. *Comibaena (Comibaena) nigromacularia delicatior* WARREN クロモンアオシャク
13. VII. '58 ; 25. VII. '59
9. *Hemistola veneta* BUTLER コシロスジアオシャク
8. VII. '70

STERRHINAE ヒメシャク亜科

1. *Problepsis (Problepsiodes) plagiata* BUTLER ウススジオオシロヒメシャク
14. VI. '71

LARENTIINAE ナミシャク亜科

1. *Trichopteryx* (*Trichopteryx*) *hemana* BUTLER シタコバネナミシャク
17. IV. '72
2. *Trichopteryx* (*Trichopteryx*) *terranea* BUTLER チャオビコバネナミシャク
17. IV. '72
3. *Epilobophora obscuraria* LEECH アトスジグロナミシャク
14. IV. '71
4. *Carige cruciplaga cruciplaga* WALKER ホシスジトガリナミシャク
8. VIII. '70
5. *Xanthorhoe* (*Loxofidonia*) *muscicapata* CHRISTOPH ツマグロナミシャク
2. VI. '71
6. *Ecliptopera umbrosaria umbrosaria* MOTSCHULSKY オオハガタナミシャク
23. IV. '71
7. *Lobogonodes* (*Lobogonodes*) *erectaria* LEECH キホソスジナミシャク
21. VIII. '71
8. *Heterothera postalbida* WILEMAN シロシタトビイロナミシャク
13. VIII. '72
9. *Nothoporinia mediolineata* PROUT ナカオビアキナミシャク
17. XI. '72
10. *Gymnoscelis esakii* INOUE ケブカチビナミシャク
27. X. '72

ENNOMINAE エダシャク亜科

1. *Myrteta punctata* WARREN ホシスジシロエダシャク
2. V. '64
2. *Synegia hadassa hadassa* BUTLER ハグルマエダシャク
13. VII. '58
3. *Crypticometa incertaria* LEECH ツマキエダシャク
17. VI. '70
4. *Semiothisa* (*Semiothisa*) *defixaria* WALKER フタテンオエダシャク
13. VII. '58
5. *Luxiaria amasa amasa* BUTLER トビカギバエダシャク
12. VI. '71
6. *Percnia* (*Parapercnia*) *giraffata* GUENÈE オオゴマダラエダシャク
31. V. '71
7. *Arichanna* (*Icterodes*) *jaguaria gaschkevitchii* MOTSCHULSKY ヒヨウモンエダシャク
25. VII. '59

8. *Jankowskia athleta* OBERTHUR チヤノウンモンエダシャク
2. VII.'70 ; 13. VII.'58
9. *Ramobia mediodivisa* INOUE ナカジロネグロエダシャク
26. X.'72
10. *Alcis angulifera* BUTLER ナカウスエダシャク
12. X.'72 ; 26. X.'72 ; 13. IX.'72
11. *Cusiala stipitaria kariuzawensis* BRYK セブトエダシャク
17. IV.'72 ; 29. V.'70 ; 2. VII.'70
12. *Ectropis bistortata* GOEZE フトフタオビエダシャク
14. IV.'71 ; 17. IV.'72
13. *Ectropis obliqua obliqua* WARREN ウスジロエダシャク
8. IV.'71 ; 30. IV.'70
14. *Aethalura ignobilis* BUTLER ハンノトビスジエダシャク
8. VI.'71
15. *Diplurodes parvularia* LEECH ハラゲチビエダシャク
14. IV.'71
16. *Hirasa (Hirasodes) paupera* BUTLER クロスジハイイロエダシャク
29. V.'70
17. *Xandrames latiferaria* WALKER タイワンヒロオビオオエダシャク
25. VII.'59
18. *Scionomia mendica mendica* BUTLER ソトキクロエダシャク
17. X.'72
19. *Pterotocera (Metriocera) sinuosaria* LEECH シモフリトゲエダシャク
14. IV.'71
20. *Zamacra juglansiaria* GRAESER オカモトトゲエダシャク
14. IV.'71
21. *Biston robustum robustum* BUTLER トビモンオオエダシャク
17. V.'72 ; 14. IV.'71
22. *Biston regalis comitata* WARREN ハイイロオオエダシャク
12. VI.'71
23. *Buzura (Amraica) recursaria superans* BUTLER ウスイロオオエダシャク
16. VII.'71
24. *Erebomorpha (Mesastrape) fulguraria consors* BUTLER アミメオオエダシャク
23. IV.'71
25. *Pachyligia dolosa* BUTLER アトジロエダシャク
8. IV.'71 ; 14. IV.'71 ; 17. IV.'72
26. *Bizia aexaria aexaria* WARKER ツマトビキエダシャク
13. VII.'58

27. *Phthonandria atrilineata* BUTLER クワエダシャク
13. VII. '58
28. *Chariaspilates formosaria* EVERSMANN ギンスジエダシャク
8. VII. '70
29. *Scardamia aurantiacaria* BREMER ハスオビキエダシャク
17. IV. '72 ; 25. IV. '72
30. *Acrodontis fumosa* PROUT オオノコメエダシャク
31. V. '71 ; 12. X. '70 ; 12. X. '72
31. *Odontopera arida* BUTLER エグリヅマエダシャク
14. IV. '71
32. *Garaeus specularis mactans* BUTLER キバラエダシャク
4. VIII. '70 ; 26. X. '72
33. *Xyloscia subspersata* C. et R. FELDER トガリエダシャク
23. V. '70
35. *Plagodes dolabraria* LINNAEUS ナカキエダシャク
8. VI. '71
36. *Ourapteryx (Ourapteryx) nivea* BUTLER ウスキツバメエダシャク
14. IX. '70 ; 12. X. '72
37. *Ourapteryx (Ourapteryx) obtusicauda* WARREN コガタツバメエダシャク
3. VII. '71
38. *Ourapteryx (Euctenurapteryx) maculicaudaria* MOTSCHULSKY シロツバメエダ
シャク
14. IX. '70
39. *Tristophis veneris* BUTLER トラツツバメエダシャク
5. IX. '70

EPICOPEIDAE アゲハモドキガ科

1. *Epicopeia hainesii hainesii* HOLLAND アゲハモドキ
3. IX. '71

EPIPLEMIDAE フタオガ科

1. *Epiplema plagifera* BUTLER クロオビシロフタオ
3. VII. '71 ; 22. VII. '71

LIMACODIDAE イラガ科

1. *Phrixolepia sericea* BUTLER アカイラガ
1. VII. '70
2. *Iragoides conjuncta* WALKER タイワンイラガ
1. VII. '70 ; 28. VII. '71

3. *Ceratonema sericea* BUTLER ウストビイラガ
19. VI. '70
4. *Narosooides flavidorsalis* STAUDINGER ナシイラガ
13. VII. '58 ; 25. VII. '59
5. *Lotoia sinica* MOORE クロシタアオイラガ
17. VI. '70 ; 13. VII. '58
6. *Monema flavescens* WALKER イラガ
25. VII. '59

ZYGAENIDAE マダラガ科

1. *Chalcosia remota* WALKER シロシタホタルガ
13. VII. '58

COSSIDAE ボクトウガ科

1. *Zeugera multistrigata leuconotum* BUTLER ゴマフボクトウ
13. VII. '58 ; 25. VII. '59

THYRIDIDAE マドガ科

1. *Rhodoneura vitulla* GUENÉE マダラマドガ
22. VI. '70 ; 24. VI. '71

PYRALIDIDAE メイガ科

GALLERIINAE ツヅリガ亜科

1. *Lamoria glauca* CARADJA アカツツヅリガ
22. VI. '70

CRAMBINAE ツトガ亜科

1. *Catoptria distinctella* LEECH テンスジツトガ
4. IX. '70 ; 13. IX. '72

EPIPASCHIINAE フトメイガ亜科

1. *Teliphasa amica* BUTLER オオフトメイガ
13. VII. '58
2. *Termioptycha margarita* BUTLER ナカジロフトメイガ
26. VI. '71

PYRALIDINAE シマメイガ亜科

1. *Orthopygia glauccinalis* LINNAEUS フタスジシマメイガ
14. IX. '70

PYRAUSTINAE ノメイガ亜科

1. *Nymphula turbata* BUTLER ヒメマダラミズメイガ
13. IX. '72
 2. *Cataprosopus monstrosus* BUTLER マエグロノメイガ
1. VII. '70
 3. *Agroteria nemoralis* SCOPOLI ウスムラサキノメイガ
26. VI. '71
 4. *Tyspanodes striata* BUTLER クロスジノメイガ
4. IX. '70
 5. *Nacoleia commixta* BUTLER シロテンキノメイガ
17. VIII. '72
 6. *Syllepte derogata* FABRICIUS ワタノメイガ
22. VII. '71
 7. *Polythlipta liquidalis* LEECH ツマグロシロノメイガ
27. X. '72
 8. *Phlyctaenia minnehaha* W. PRYER マエベニノメイガ
26. VI. '71
-

蒜山高原でヒヨウモンモドキ及びヒメ シジミの幼虫を採集

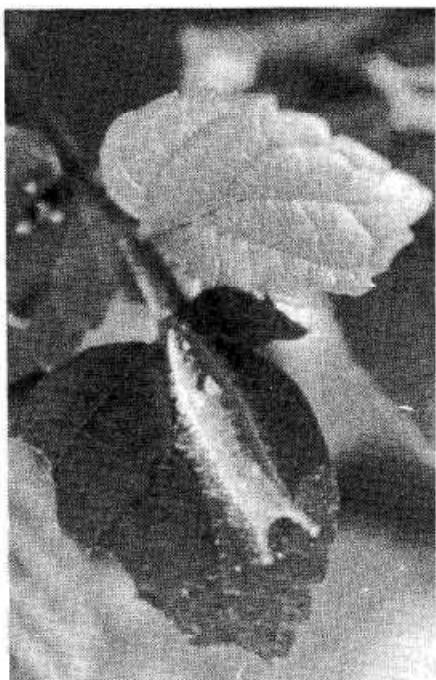
竹内 亮(〒680 烏取市本町5丁目202)

筆者は1977年5月29日、真庭郡川上村の蒜山高原で、ヒヨウモンモドキの幼虫を採集したので報告しておく。

採集当時の体長は、A - 約30mm, B - 約25mm, C - 約22mmの3頭であり、いずれも湿原のマアザミの葉の表面に、アゲハチョウ族の幼虫のように1頭宛静止していた。これらの幼虫は、いずれも持帰ったマアザミの葉を食し、Aは6月1日前蛹、6月2日蛹化、6月13日♀が羽化した。Bは6月6日体表に多数の寄生蜂らしい繭を生じて死亡した。Cは7月15日体長が12mmに萎縮して死亡したが、死亡直前迄マアザミの葉を食し糞も排出している事を確認している。又この日同じ湿原及びその附近の他の湿原で、マアザミの葉上及び葉柄にいたヒメシジミの幼虫23頭を得た。幼虫は食草の表面を食している為、丁度ナメクジが野菜を食べた跡の様な、虫体に似合わぬ大きな食痕が目につき、又一部の幼虫には蟻の集っている所も見られた。これらの幼虫の採集時の体長は、6~10mmであったが、持帰ったマアザミを与えた所、体長約13mmの終令幼虫となり、6月2日から6月10日の間に20頭が蛹化し(体長10~11mm)、夫々6月14日から6月23日の間に12♀♂、6♀♀が羽化した。

尚当日採集したヒメシジミの幼虫は、緑色型と緑褐色型の両型共得られたが、この両型は、採集後蛹化迄の期間及び羽化した♂♀の性には関係がない様に見られた。

ゴマダラチョウ幼虫の1観察例



1977年10月16日朝都窪郡山手村片山でエノキの葉上にゴマダラチョウ幼虫を発見した。すでに4令に達したものと思われるが、エノキの葉はいずれも相当いたんでいたが、幼虫の多くは食痕のある葉上に台座をつくって静止していた。葉の表面ほぼ中央部で、葉柄に向っているものは6頭中4頭で2頭は葉先に向っていた。

採集して帰り、自宅の鉢植のエノキに放ったが、10月21日現在いずれもよく摂食をつづけている。幼虫の静止の方向は写真のように葉先に向っているものが3頭ある。又この樹でも摂食した葉上に静止するものがある。

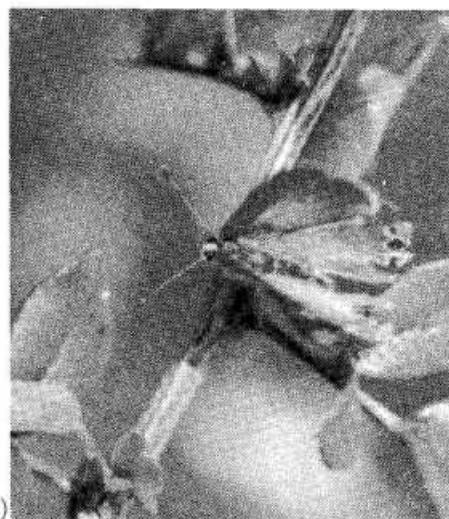
このことは、白水著『原色日本蝶類幼虫大図鑑』及び福田外著『原色日本昆虫生態図鑑』の記載と異なるので一応報告しておく。

(写真は10月20日朝撮影) (風早保男)

狂い咲きのエニシダ? にウラナミシジミの産卵

1977年10月17日、都窪郡山手村の自宅でのことである。快晴で暖かい日であったが、正午ごろ家に帰ってみると数匹のウラナミシジミが飛んでいる。よく見ると、高さ1m50cm位のエニシダ *Cytisus scoparius* らしき1株あり、この木に蕾と開いた花とがあり、これに産卵にきたものとわかった。♀は5頭で、つぼみ、花はもちろん葉にも数個ずつ産みつけており、多いものでは1小葉に3個のものもあり、葉うらの方が多いが表面にも相当数産みつけられている。筆者の経験ではウラナミシジミはマメ科植物のつぼみ、花、又は若い果実に産卵するのが普通であるが、この日の産卵は異常であった。

母蝶はいずれも、羽がいたんでいたが、ほとんど興奮状態のようで、産卵は午後3時すぎまで行われた。この時期、付近にはマメ科植物の花はなく、たまたま見つけた狂い咲きのエニシダに、異常な産卵行動となったものと思われる。(風早保男)



総社市でナガサキアゲハの越冬蛹

ナガサキアゲハが岡山県南部地方に多数生息していることは周知のことであるが、その越冬状態については報告されていない。

1977年11月22日総社東中学校生物クラブで総社市三須のミカン畑を訪れた際、アゲハ、クロアゲハとともに本種の越冬蛹2個体を採集することができた。いずれも緑色型で体長は、44.2mmと44.4mmであった。

なお、同地では今年5月に訪れた際にも、羽化に失敗（前翅のみ伸びて死亡していた）した本種1♀を得ている。1977年の冬は近年にない低温であったが、この年の羽化からみて、県南部で越冬していることは確実である。

(風早保男)

西大寺のナガサキアゲハ

県下のナガサキアゲハ *Papilio memnon* は近年地域によっては普通種になったようであるが、岡山市以東の報告された記録は難波氏の岡山市西大寺矢津1975年目撃の1例のみのようである。ところで筆者は同じ西大寺での採集例を知り得たのでここに記録しておく。

1975年8月 西大寺中野 三河内房子

1976年8月 同上 同上

三河内さん（本会会員）は2年連続で自宅付近で採集されている。

さらに本年（1977年）筆者の近所の小学生の木村君が8月11日西大寺中学校のミカンの木より幼虫を採集し飼育の結果8月27日に♀が羽化した。

このように連続して採集されていることから、岡山市にも定着したと考えてもいいのではないかと思う。

(赤枝一弘)

ホシミスジとナガサキアゲハについて

筆者は久米南町でホシミスジを採集したが久米南町での記録はいまだないので報告しておく。29. VIII. '77, 1♀ 久米南町弓削 又ついでながら 17. IX. '77 同所にてナガサキアゲハ1♀を目撃した。参考までに記録しておきます。

(水島靖夫)

イシガケチョウを備中町で採集

イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* FRUHSTORFER は今までに県下で数例記録されているが、従来殆ど記録されていないと思われる。吉備高原地域にて得ることができたので報告しておく。

川上郡備中町上布瀬（180m）Aug. 29. 1977 1♀

ヌルデに訪花していたもので、比較的新鮮な個体であった。

なお、当日同地にて下記の種を採集しているので併せて報告しておく。

ナガサキアゲハ1♀（クサギヘ訪花）、ミヤマカラスアゲハ1♀、スジホソヤマキ1♀。

(中村具見)

広島県東南部の蝶の分布

門 田 亨

(〒726 広島県府中市元町496-3)

広島県は西部、北部を中心にして、かなりくわしく昆虫相は調べられているが、東部特に東南部は分布に関しては白紙といつてもよいほどで、蝶に関するかぎりいわゆる普通種少數が知られているのみであった。筆者は71年6月より思ひたって、この地方の蝶相の解明に努力してきた。そして今この地方の蝶相が大体解明でき、岡山県西部と分布が続いている種が数多く発見できた。もちろん今後も調査を継続し、更にくわしい分布図を作成することを究極の目的としている。

今回の報告は今までの調査の集大成を発表することになるが、普通種にはあまり重点を置かず、それ以外の目につく種についてくわしい報告をする。なお広島県東南部とは別図の参照によればわかると思うが、北は神石郡、西は甲奴郡までとしている。この調査は筆者一人が主として行なったものであるので、広島県東南部の津々浦々に限なくゆきわたっているとは言いがたい。虫屋諸兄の中には広島県東南部において筆者が未記録の種を記録されている方もあるかと思うので筆者に御一報があれば幸甚である。なお、以下の報告の中には一部中央の雑誌に既報のものも含まれてはいるが、その後の知見もかなりふえており、ここに一括して報告することにした。また、筆者の調査中折にふれて筆者を様々な土地に案内してくれた同好の諸氏に心から感謝の意を表する。

1. 広島県東南部概観

広島県東南部は地理的にも生物学的にも岡山県西部と連続していると思われる。県北には1,000mを越す山も多々あるが、東南部には神石郡に800m余りの“星の居山”があるのみで南にゆくにつれてだんだん低くなり、府中市内に入るといわゆる平地になり瀬戸内海へと続く。府中市北方の新市町藤尾は旧吉備高原の南端にあたっており、この付近を境として生物相が明らかに異っている。後でもふれるが蝶についてもこの付近を境とする種も多く見られる。すなわち吉備高原より南部の地方には分布していないが吉備高原以北には分布しているというものである。この吉備高原はペニモンカラスシジミの学名の亜種名にとられていることは周知であろう。

広島県東南部は瀬戸内海式気候の区分に入り、雨は少ない。しかし冬期の積雪についてはやや趣きを異にし、福山平野や海岸地帯では少ないが、府中市以北では気温も低くしばしば雪を見、積雪も神石郡では多い。

また蝶の分布に多くの影響を与える河川は芦田川一本があるのみであるが、芦田川の支流が蝶の発生地としてあげられる。また小田川、帝釈川等の河川もあるが、これらは岡山

県高梁川の支流である。

2. 広島県東南部の蝶相

広島県東南部において筆者が今までの調査で採集し保存している全個体を紹介しこの地方の蝶相の理解をしていただきたいと思う。なお分布に関する資料は藤岡知夫著「日本産蝶類大図鑑」を主として参考にした。普通種であっても筆者が採集した個体は著しく少ない場合もあるが、特に説明をしていないかぎりこの地方では普通種であると考えていただきたい。



(1) セセリチョウ科

① イチモンジセセリ

府中市元町, 1♀, 19. VIII. '71; 1♂, 21. VIII. '71; 2♀, 18. VIII. '73; 神石郡三和町, 1♂ 1♀, 17. VIII. '73

② ミヤマチャバネセセリ

芦品郡新市町藤尾, 3♂, 25. V. '74; 1♂, 2. VI. '74; 甲奴郡上下町, 1ex., 26. VII. '74; 府中市荒谷町, 1♂, 11. V. '75; 府中市戸羽, 2♀, 28. V. '75

本種は「日本産蝶類大図鑑」の分布図（以下「分布図」という）によれば、いずれも当地未記録種であり、平地では発見できない。この採集地はいずれも 300 m 前後の山地であり、府中市荒谷町産の個体が南端の記録となる。この個体は非常に新鮮であることから、この地方での発生は 5 月上旬頃からということが想像できる。それ以外の春型個体はすべてややいたんでいる。

③ オオチャバネセセリ

府中市本山町, 1♀, VII. '71

数年前までは比較的多い種であったが、最近はあまり見かけない。

④ チャバネセセリ

本山町, 1♂, 4. X. '71; 1♀, 15. X. '71; 1♂ 1♀, 28. X. '73; 1♂, 16. VI. '76; 藤尾, 1♀, 25. V. '74

⑤ コチャバネセセリ

三和町小畠, 1♀, 22. VIII. '71; 三和町, 1♀, 22. VIII. '72; 1♂, 16. VI. '74; 元町, 1♂, 31. V. '72; 上下町矢野, 1♀, 26. VII. '74; 神石郡神石町, 1♂, 25. V. '75

⑥ ホソバセセリ

本山町, 2♀, 6. VII. '72; 1♂ 1♀, 29. VII. '73

非常に個体数が多い種である。

⑦ ダイミョウセセリ

本山町, 1♀, VII. '71; 1♀, 16. VIII. '72; 1♂, 12. IX. '72; 藤尾, 1♂, 7. V. '72; 府中市出口町, 1♂, 3. V. '73; 元町, 1♂, 24. VIII. '73; 1♀, 30. VIII. '73; 荒谷町, 1♂, 5. V. '75

⑧ ホシチャバネセセリ

三和町日別, 1♀, 13. VIII. '72; 三和町古道, 2♂ 2♀, 20. VII. '75; 藤尾, 1♂, 5. VII. '73; 1♀, 5. VIII. '76; 神石町, 1♂, 16. VII. '74

本種は「分布図」には広島県東南部はほとんど空白であるが、吉備高原の南端である新市町藤尾が現在のところ南限であり、少數ながら藤尾以北の神石郡一帯に広く分布しているようである。

⑨ キマダラセセリ

荒谷町, 1♂, 28. VI. '72; 元町, 1♀, 24. VIII. '73; 1♀, 30. VIII. '73; 本山町, 1♂, 27. VIII. '73

(10) ヒメキマダラセセリ

元町, 1♀, 8. VII. '73; 1♂1♀, 13. VIII. '73; 1♂, 18. VIII. '73; 藤尾, 1♂, 25. V. '74
; 府中市木野山町, 1♂1♀, 13. VI. '76

(11) スジグロチャバネセセリ

藤尾, 1♂1♀, 22. VII. '72; 1♂, 5. VII. '73

本種は今のところ、新市町藤尾以外には採集できていない。現地ではわりあい多く、芦田川の支流の谷川付近に見られる。「分布図」でも広島県東南部、岡山県南半分は記録がないようであるが、詳しい調査をすれば岡山県南西地区でも発見される可能性は大きい。

(12) ヘリグロチャバネセセリ

三和町, 1♀, 13. VIII. '72; 1♂, 17. VII. '76; 藤尾, 1♂, 5. VII. '73; 府中市僧殿町,
1♀, 6. VII. '75

前種と異なり、分布は広く数も多い。分布は神石郡から府中市南部まで主として低山地である。「分布図」によれば府中市以外は空白になっているが、広島県側も岡山県側と同様な分布であろうと思われる。

(13) ミヤマセセリ

本山町, 4♂3♀, 2, 10, 22, 25, 29. IV. '72; 2♂, 3. IV. '73

他に府中市鶴飼町産の1♀で採集日不明のもの。

(14) アオバセセリ

三和町, 1♂, 1. VII. '71; 藤尾, 1♀, 7. V. '72; 荒谷町, 1♂, 17. V. '75; 芦品郡
新市町金丸, 1♂, 14. V. '72

本種は少数で府中市においてはかなりの山地でなければ採集できない。「分布図」は全部ぬりつぶしてあるが、どこでも採集できるという種ではない。

(2) アゲハチョウ科

(1) アオスジアゲハ

本山町, 1♂, 11. VII. '71; 元町, 1♀, 1. V. '72; 1♂, 6. V. '72; 藤尾, 1♂, 25.
V. '74; 府中市老松町, 1♂, 13. VII. '71; 尾道市, 1♂, 11. VIII. '71

多数ではないが広く分布している。

(2) ジャコウアゲハ

老松町, 1♀, 11. VII. '71; 元町, 1♀, 15. V. '72; 1♀, 21. VIII. '75; 荒谷町, 1♀,
10. V. '75; 芦品郡新市町金名, 1♂, 29. IV. '73; 1♂, 25. IV. '76

小数種である。金名産の2個体はいずれも新鮮なものであり、春型の発生は4月下旬と推定できる。

(3) オナガアゲハ

藤尾, 1♂, 16. VII. '71; 1♂, 7. V. '72; 1♂, 5. VIII. '76; 神石町, 1♀, 15. VIII. '71
; 出口町, 1♂, 1. VI. '72; 三和町, 1♂, 1. VIII. '76

(4) カラスアゲハ

三和町, 1♂, 1. VIII. '71; 1♀, 18. V. '74; 1♂, 1. VIII. '76; 藤尾, 2♂, 7. V. '72

; 元町, 1♂, 28. IV. '73; 出口町, 3♂, 3. V. '73; 福山市加茂町山野峠, 2♂, 31. VII. '75

4月の終り頃から発生するようである。平地にも若干見られるが低山地から山地にかけての方が多い、春型はツツジの花に集まっているのを多く見かけた。夏型にくらべると山地に多いようである。雌を採集する機会が少なかった。個体数は比較的多く、新市町藤尾より三和町にかけての谷川沿いは特に多い場所である。

⑤ ウスバアゲハ

神石郡神石町永野, 6♂3♀, 20, 27. V. '73; 3♂2♀, 26. V. '74; 12♂4♀, 25. V. '75

分布図によれば県東部の南限は、大体帝釈峠付近である。神石町永瀬は帝釈峠の石灰岩台地の一部であり豊産している。帝釈峠神竜湖付近の台地より切れ目なく南に分布し、2万年前の原人が出土した観音堂洞窟付近までつづく。分布図の範囲が果してこのあたりまでかどうかは不明である。

発生は5月20日前後かららしく、'76年には5月中旬現地を訪れたが姿は見えなかった。他の産地のものとくらべて大差はないが山口県常国産のものより黒化が強く、京都府大悲山産のものより白化している。なお筆者は♀の完全黒化型を1頭所有している。また、この♀は未交尾であることから♀の発生もこの時期からであろうと推測できる。

⑥ ミヤマカラスアゲハ

藤尾, 1♂, 10. IX. '72; 1♂, 2. VI. '74; 三和町, 1♂, 18. V. '74; 1♂, 25. VII. '76; 山野峠, 1♂, 31. VII. '75

分布図は県東南部は空白である。筆者の採集した福山市産の個体は福山市とはいうものの市街地より北へ20キロ以上入った谷川で採集したものであり、分布図の県東南部の境界線付近にあたっており南限となるあたりであろう。また、分布図のある大図鑑によれば、広島県での発生経過についてはふれていないが、筆者の採集した個体により年3回発生ということが考えられる。春型の2個体はいずれもいたんでおり第1化は5月に入ると発生するのである。第2化、第3化については後述するが筆者の採集した3個体はすべて新鮮な完全品であり、いずれも大型である。したがって第2化は7月下旬より、また第3化は8月から9月はじめにかけて発生するものと思われる。本種は前出のカラスアゲハによく似ているので採集を見送り個体数は多く採っていない。しかし絶体数もカラスアゲハに比べれば著しく少ないようである。

⑦ ナガサキアゲハ

元町, 1♂, 11. VII. '71; 1♂, 16. VIII. '71(飼育); 1♂, 15. V. '72; 1♀, 7. X. '72; 1♀, 5. V. '73; 1♂, 12. V. '74; 1♀, 14. VII. '74; 荒谷町, 1♂, 17. V. '75

分布図では山口県西部より瀬戸内海沿岸をとおり広島県呉市あたりまで分布している。県東南部に若干の記録が見られるが、府中市付近のものはおそらく筆者の採集した個体を以前に発表したものが記されているのである。分布図は県東南部ではわずかの記録であるが少なくとも瀬戸内海沿岸には広く岡山県に入っても分布しているものと思われる。その理由は本種は北へ分布を広げている種であり数年前まではごく少数であったものが特に'76年には大発生に近い状態で普通種になっているということである。黒いアゲハチョウを

発見すると注意して観察したらクロアゲハよりはるかに多く見られた。このため76年は採集していない。

72年に記録した♀は10月に発生しており、しかも新鮮であることから第4化というめずらしいものと思われる。しかし76年には9月から10月にかけて第4化らしき個体がたびたび見られた。

⑧ アゲハ

元町, 1♂, 6. VII.'71; 1♂, 10. IV.'72; 2♀, 17, 18. IV.'72; 1♀, 17. VII.'72; 1♂, 2. IV.'73; 本山町, 1♂, 22. IV.'72; 1♀, 8. IV.'73; 1♀, 10. VII.'75

普通種であり春型は3月下旬から発生している。

⑨ クロアゲハ

藤尾, 1♂, 4. VII.'71; 1♀, 14. V.'72; 元町, 1♀, 19. VIII.'71; 1♂, 1. V.'72; 本山町, 2♀, 28. IV. 23. V.'72

⑩ キアゲハ

本山町, 1♂ 1♀, V.'71; 2♂, 21, 22. IV.'72; 僧殿町, 1♀, 27. IV.'74; 新市町, 1♂, 28. IX.'75; 1♀, 9. V.'76; 1♂, 20. VIII.'76

アゲハにくらべれば少ない。平地より低山地に多いようである。

⑪ モンキアゲハ

出口町, 1♂, 17. V.'73; 1♂, 31. VII.'76; 藤尾, 1♂, 25. V.'74; 2♂ 1♀, 25, 29. VIII.'75; 本山町, 1♂, 6. VI.'76

さほど多いという種ではないが県東部には広く分布しているようである。

(3) シロチョウ科

① モンシロチョウ

元町, 1♂, 13. VI.'71; 2♂ 1♀, 10, 15, 18. III.'72; 1♂, 12. IV.'74; 1♂, 28. III.'75; 本山町, 1♀, 4. VI.'72, 5♂ 1♀, 9, 13, 20, 24. III.'73; 1♀, 3. IV.'73; 1♀, 16. III.'74; 府中市鶴飼町, 1♀, 3. IV.'73; 1♀, 13. IV.'74; 府中市栗柄町, 1♂ 1♀, 24. IX.'75

第1化の発生は3月10日前後で±2日位の誤差しかない。暖冬といわれた年でもそうではない時でも、3月10日がくると県東部ではまずモンシロチョウが舞いはじめる。

なお筆者はカナダ・モントリオール市 Mont Royal とアメリカ・ニューヨーク市 Brooklyn 産の合計3頭を有しているが、いずれも夏型でありながら、日本亞種の春型に酷似している。また大韓民国京城市産夏型1♂をも保存しているがこれは日本産夏型と大差ない。

② エゾスジグロシロチョウ

藤尾, 1♂, 12. V.'74; 8♂, 26, 29. VIII.'75; 三和町, 1♂ 2♀, 18. V, 7♂ 2♀, 27. VIII.'75; 山野峠, 1♂, 31. VIII.'75

分布図では全地域に産することになっているが現実にはかなり限定されている。県東南部においては府中以南では発見していない。発香鱗の形と斑紋のちがいでスジグロシロチ

ヨウとの区別ができる、この結果をつかって本種をできるがぎり広い地域から記録すべくがんばったが、いわゆる吉備高原以南からは発見できない。スジグロシロチョウとの棲み分けがよく問題になるが筆者の記録した藤尾から三和町にかけてはわずかに次種スジグロシロチョウが混じっていただけで棲み分けがなされていると思われる。

(3) スジグロシロチョウ

元町, 1♀, 8. IX. '71: 1♀, 28. III. '75; 本山町, 1♂, 28. III. '72: 2♂ 1♀, 1. IV. '73: 1♂, 15. VI. '74; 三和町, 2♂, 27. VIII. '75; 藤尾, 1♂, 29. VIII. '75

低地に多い。普通種である。

(4) ツマキチョウ

本山町, 1♂ 1♀, 28. III. '72: 1♀, 22. IV. '72: 6♂ 2♀, 2, 3, 8. IV. '73: 3♂ 1♀, 12, 13. IV. '74: 1♂, 29. III. '75; 元町, 1♂, 10. IV. '72: 1♀, 29. IV. '73: 1♂, 12. IV. '74; 新市町, 1♀, 29. IV. '73; 荒谷町, 1♀, 5. V. '75

3月下旬より発生、4月に多いようである。低山地に多い。

(5) モンキチョウ

本山町, 1♂ 1♀, VI. '71: 1♂, 28. III. '72: 1♀, 22. IV. '72: 1♀, 21. VI. '72: 1♀, 28. X. '73: 1♀, 8. VI. '74: 1♂, 29. III. '75: 2♂, 13. III. 1. IV; 1♀, 13. VI. '76; 御調郡御調町, 1♂ 1♀, 3. X. '71; 僧殿町, 1♂, 27. IV. '74; 荒谷町, 1♀, 5. V. '75; 元町, 1♀, 30. IV

(6) キチョウ

本山町, 1♂, 21. VI: 1♂ 4♀, VI, VII. 31. VIII, 19. IX, 15. X. '71: 1♀, 26. VIII. '73; 1♂, 14. VI. '75; 出口町, 2♂, 5. X. '71; 元町, 2♀, 10. III, 16. VII. '72: 1♂, 24. VIII. '73; 鶴飼町, 2♂, 23. VIII. '73; 府中市目崎町, 1♀, 23. VIII. '75; 府中市用土町, 1♂, 24. IX. '75

広く又多く産する。秋型は9月初めより発生している。

(7) スジボソヤマキチョウ

三和町, 1♂ 1♀, 4. VII. '71

筆者の手もとにあるものはこの2頭のみであるが藤尾には少数ながら確実に土着している。また府中市においても以前は平地近くにも産していたらしい。筆者は73年ごろ荒谷町で1♂を記録している。新市町藤尾より三和町にかけては71年ごろは割合に採集できたが最近は発見できない。

(8) ツマグロキチョウ

本山町, 3♀, 21. VII, 11, 19. IX. '71: 1♀, 14. VI. '75; 元町, 1♂, 13. XI. '71

キチョウにくらべると著しく少ない。特に夏型は少ない。ここに記録した以外にも各地の低山地で見かけている。

(4) シジミチョウ科

(1) ウラゴマダラシジミ

本山町, 1♂, 8. VI. '72: 1♀, 23. VI. '74: 1♀, 12. VI. '76; 三和町, 1♂, 9. VI.

'74: 2♀, 3. VII.'76

分布図によれば広島県東南部は筆者が以前に発表したと思われるものが府中市付近に記してあるが、それ以外は全く記録はない。府中市においては本山町を中心にわずかながら分布している。府中市以北では三和町付近に記録している。少數ながら神石郡一帯には広い分布があるものと思われる。

(2) ウスイロオナガシジミ

三和町, 2♂ 2♀, 4, 24, 25. VII.'76

分布図では広島県は西部に多くの記録があり又北部高野町付近にわずかの産地を見出すのみである。東部は全く空白である。しかし岡山県西部には産地も多いらしく、広島県東部はこの分布の切れ目であるため筆者は分布はもっと連続していると考え広島県東部で本種を発見すべく力を注いでいたが、後述するヒロオビミドリシジミを発見し採集中に、ナラガシワ林で新鮮な1♂を得ることができた。当地での採集はその日がわずか2日目のことであり本種がいつごろより発生しているものは今後の調査によらないとわからないが、この日採集した個体が非常に新鮮であり、又同月25日までに採集した4個体がいずれも完全品であったことから、6月下旬から7月下旬までの発生ではないかと推測できる。なお大図鑑には6月中旬より7月上旬までとなっているが、これは関東から近畿地方までのことであり西日本では若干のずれがあるのかもしれない。このあたりの標高は約400mである。この付近をもっと広く調査すれば本種は広く分布しているものと思われ、おそらく新市町藤尾付近を南限として県東部一帯に分布しているものと思われる。

(3) ウラキンシジミ

神石郡油木町手入, 1♂ 1♀, 7. VII.'74

広島県東南部の記録はこの2頭のみである。分布図では広島県東部が大きな空白地帯であるが筆者が記録した油木町手入は岡山県高梁川水系の一支流付近で、しかも岡山県境に程近い場所である。

(4) ミズイロオナガシジミ

本山町, 1♂ 2♀, 9, 10. VI.'72: 2♀, 7, 14. VI.'75: 2♀, 11, 13. VI.'76; 出口町, 1♂, 21. VI.'73

ゼフィルス類では最も普通種である。

(5) ミドリシジミ

日別, 1♀, 22. VII.'72

分布図にあるほど広く分布はしていない。

(6) ウラナミアカシジミ

元町, 2♂ 2♀, 8, 9. VI.'72: 1♀, 22. VI.'75: 3♂ 2♀, 6, 11, 12, 13. VI.'76

次種と同様雑木林の開発で減少している。

(7) アカシジミ

本山町, 2♂ 2♀, 13. VI.'72: 1♀, 1. VI.'74: 1♂ 3♀, 6, 7, 16. VI.'76

大図鑑の言うとおり前種より1週間くらい早く発生する。又前種よりやや少ないようである。

⑧ ウラミスジシジミ

本山町, 1♂, 14. VI. '75: 1♀, 15. VI. '76

以前より府中市で採集されたことはあったらしいが筆者は確認していなかった。分布図においても中国地方の産地は少なく広島県東部には記録がない。府中市の記録を記入してみると大体本州での南限ライン上に一致する。多い種ではなくめったに見かけない。神石郡一帯にも分布しているものと思われる。筆者の採集した2頭は全く新鮮でこのころから発生するものと思われる。2頭ともケルシボラ型である。

⑨ ウラジロミドリシジミ

三和町, 3♂7♀, 4, 17, 24, 25. VII. '76

分布図によれば広島県東南部には記録はない。神石郡三和町は県内での南限となる。岡山県では海岸近くまで記録があるが、広島県東南部では食草と思われるナラガシワが吉備高原以南にはほとんどなく、よって府中市内では記録していない。おそらく岡山県のような分布は示さず現在よりさほど南では記録はできないようである。新市町藤尾で記録できることはまちがいないであろう。

⑩ ヒロオビミドリシジミ

三和町, 12♂11♀, 3, 4, 17, 24, 25. VII. 1. VIII. '76; 藤尾, 1♂, 4. VII. '76

分布図によれば岡山県西部から広島県東部においては岡山県高梁市あたりが南限であるが新市町藤尾はさらにそれより南にあたっており南限ラインの一ポイントを形成する。藤尾から三和町にかけてナラガシワの群生があり多数の本種が見られる。初記録が7月初旬であるので77年の発生状況を見なければ正確な発生については言えないが、このあたりのウスイロオナガシジミ、ウラジロミドリシジミなども他の地方よりやや遅れ気味であることを考慮すると本種も他地区よりやや遅く6月下旬より発生する可能性が強い。前述の如く食草はこの地区では豊富で神石郡中央部へと広く分布しているようで今後の調査によればもっと多くの産地が発見できるものと確信する。本種も吉備高原以南には分布していない。なお1♀は裏面白帯内側にある黒いふちどりが中室付近まで流れているという異常型である。

⑪ オオミドリシジミ

本山町, 3♂, 8, 11, 13. VI. '72: 1♂, 15. VI. '74: 1♂2♀, 7, 22. VI. '75: 4♂4♀, 6, 8, 11, 12, 13. VI. '76

府中市ののみの記録であるが広く分布していると思われる。

⑫ ウラナミシジミ

元町, 1♀, 22. VIII. '71: 1♂, 17. VIII. '72; 出口町, 1♀, 5. X. '71; 本山町, 1♂, 18. VIII. '72

8月後半頃より姿を表わす。

⑬ トラフシジミ

府中市下川辺, 1♂, VI. '71; 本山町, 1♀, VI. '71: 2♂, 29. IV. '72: 1♂, 22. VI. '75; 元町, 2♂1♀, 28, 29. IV, 10. V. '73

さほど多い種ではない。

⑭ ムラサキツバメ

府中市三郎丸町, 2♂3♀, 9. VIII, 16, 27, 28. X. '72; 1♀, 4. X. '76

分布図では九州、四国全域と山口県西半分と瀬戸内海側を広島市付近まで連続して分布しているが、それ以外ではほとんどまとまった産地はない。岡山県、近畿地方等にわずかな産地が散らばっている。府中市付近の記録は筆者の採集したものであろう。府中市三郎丸町のわずか1アールほどのカシ林が発生地であるが、72年に約10頭程採集したがその後は全く発見できなかった。現場のカシ林が切られたり手を加えられたりしたためだろうと思われるが、76年になってやっと1頭発見し採集することができた。この付近を限なく調査してみたが他の場所では見つからない。

⑮ ムラサキシジミ

本山町, 2♂, VII, 5. X. '71; 2♀, 10. III, 31. X. '72; 三郎丸町, 1♂, 16. X. '72

普通種である。

⑯ コツバメ

本山町, 1♂, 28. III. '72; 1♂, 1. V. '73; 元町, 1♂1♀, 10, 11. IV. '72; 三和町, 1♀, 18. V. '74; 藤尾, 1♂, 24. IV. '76

3月下旬より発生するが北部ではややおくれるようである。

⑰ ベニシジミ

本山町, 1♀, 15. X. '71; 2♀, 29. VI, 29. X. '72; 1♀, 2. IV. '73; 1♂2♀, 12, 13. IV. '74; 2♂, 29. III, 7. VI. '75; 鶴飼町, 1♀, 7. XI. '71; 三和町, 1♂, 17. VIII. '73; 元町, 1♂, 11. IV. '74

⑯ ゴイシシジミ

三和町, 1♂2♀, 13, 22. VIII, 3. X. '72; 元町, 1♂, 13. VIII. '73

多い種ではない。神石郡には多産地があるが南部では少數である。府中市では元町の他に本山町で数回記録している。

⑯ クロシジミ

三和町, 1♀, 13. VIII. '72; 1♂, 17. VII. '76; 芦品郡新市町山形, 1♀, 29. VIII. '72; 藤尾, 1♂1♀, 1. VIII. '76

分布図では広島県はほとんど記録はなく、数が少いという印象を与えるが岡山県は全域で採集されているようである。広島県東南部ではかなり深い山地に産し数も少ない。ところが藤尾の谷川沿いで多数の本種が群生しているのを発見した。採集をはじめると逃げてゆき7頭しか採集できなかった。この時の採集品はすべて新鮮で発生期も7月下旬頃と思われる。また本種は裏面の色が2種類あるが両者は分離して出現することが多いと大図鑑に記されている。藤尾では両者が混じっている。比較的珍しいと思われる。

⑯ ゴマシジミ

芦品郡協和村箱田, 2♂2♀, 13, 22. VIII. '72; 府中市木野山町, 3♂1♀, 19, 20. VIII. '75

非常に変異が多く同一場所内の個体間にも変異がみられる。黒点が全く消失しているものから鮮明なものまで様々である。全体的に見れば亞種 *daisensis* に属している。大図鑑によれば広島県東部の神石郡油木町から岡山県側の川上郡にかけての個体は黒点が消失す

る傾向にあるらしいが協和村の個体は全くこれに一致し、後翅外縁の黒帯の中に白点が出現したものが多いため、分布図では協和村は空白であるが、協和村箱田には非常に狭い範囲で本種が棲息している。発生数は多く盛期には沢山の個体を見ることができる。分布図は広島県内の本種の分布を3つのグループにわけている。西部、北部、そして前述の油木町付近である。協和村と油木町はかなりの距離があり、しかも両者の個体は相通する特徴を有していることから、これら2個所の間にも本種を産する地域があると思われるが発見していない。なお協和村は現在では府中市と合併しており府中市木野山町と称している。木野山町箱田は今のべたが、この場所以外でもほんの少數ながら本種を得ている。木野山町の南部にあたりやはりワレモコウの生えている場所である。このあたりは分布図より判断すれば本州での南限ラインに一致している。標高は400から500mの間である。またこの協和村から山を北に越えた三和町日別においても本種1頭を目撃している。筆者はこの他神石郡神石町の帝釈峠南部においても1頭を採集している。このあたりも分布図では空白であるので、広島県東南部はもっと広く本種が分布している可能性が強い。

㉑ ツバメシジミ

本山町、1♂1♀、17. V. 29. VI. '72；1♂、12. IV. '74；僧殿町、1♂1♀、27. IV. '74；荒谷町、1♀、5. V. '75；用土町、1♂1♀、24. VII. 24. IX. '75；新市町、1♀、5. X. '72；1♀、9. V. '76

㉒ ルリシジミ

本山町、3♂1♀、28. 30. III. 3. VII. '72；1♂2♀、24. III. 10. VI. '73；1♂1♀、16. 21. III. '74；鵜飼町、1♂、17. VIII. '72；三和町、1♀、22. VIII. '72

㉓ シルビアシジミ

新市町、2♂1♀、3. 5. X. '72；1♂、18. V. '74；8♂2♀、28. IX. 5. X. '75；4♀，9. 22. V. '76；3♂2♀、30. VII. 用土町、1♂1♀、11. 16. X. '72；1♀、11. V. '75；府中市中須町、2♂2♀、5. X. '75；2♂，30. VII. '76

府中市と新市町の一連の産地は分布図では非常に重要な位置にある。この地域をのぞくならば本種は岡山県から広島県西部へと分布がとんでしまう。瀬戸内海側の分布は京都から広島県西部へと分布は切れ目なく続いているが、広島県東部のみに記録がなかったが、府中市から新市町へと本種が見つかったことから分布の連続が成立したわけである。この地域の産地は芦田川の川原であり食草のミヤコグサは所々に分布する。しかしそのすべてに本種が棲息しているわけではない。分布図における広島県東部の一点は府中市の産地を示しており、74年に筆者が発表したことによるものであろう。

㉔ ヤマトシジミ

本山町、1♀、19. XI. '71；2♀、16. VIII. 2. X. '72；1♂、12. IV. '74；1♂、12. IV. '74；元町、1♂、25. VII. '72；1♂1♀、3. VII. '73；新市町、1♂、5. X. '72；荒谷町、1♀、10. X. '72；僧殿町、1♀、27. IV. '74

㉕ ヒメシジミ

古道、4♂1♀、7. VII. '74；6♂10♀、20. VII. '75；4♂5♀、22. VII. '76

分布図では中国地方の最高部に分布していることになっているが筆者が記録している三

和町古道付近の湿地には広く又多く分布している。この地域は甲奴郡上下町境であり湿地が上下町の側につづいていることから本種が上下町へと分布していることは明らかである。分布図では三和町はとびはなれた場所になるが、くわしく調査すればこの付近を南限として北へ分布は広く続く可能性がある。ここは標高 500 m である。本種は 400 m 以上に分布するといわれるので、この地域より南での可能性はうすい。

㉙ クロツバメシジミ

山野峡, 5 ♂ 8 ♀, 27. VII. 31. VIII. '75

数年前までは本種は岡山県以西には記録がなかった。岡山県では瀬戸内海側と山間部にまたがって広く分布している。広島県では最近三原市、竹原市、豊田郡、因島市などの瀬戸内海沿岸部に限り記録されたが筆者は以前述べた如く岡山県西部と広島県東部は生物的にも地理的にも一体であるという考えに立っていたので、本種も広島県東部の山間部に分布すると考えていた。75年に記録した福山市山野峡は神石郡三和町に接している山間峡谷の地である。ここの谷川のガケの一部に約 200 m の範囲で分布している。他の場所では食草すら見つからない。南部の三和町、新市町藤尾等の谷川を広く調査したが記録できなかった。山野峡が現在のところ広島県内の唯一の内陸産地である。盛期には個体数も多い。

(5) ウラギンシジミ科

① ウラギンシジミ

本山町, 1 ♂ 1 ♀, 29. VII. '71; 1 ♀, 22. VI. '75; 荒谷町, 1 ♂, 8. X. '71; 元町, 1 ♀, 13. XI. '71; 三郎丸町, 1 ♂ 1 ♀, 20, 27. X. '72; 目崎町, 2 ♂, 23. VIII. '75

(6) テングチョウ科

① テングチョウ

芦品郡協和村, 1 ♂, 11. VII. '71; 荒谷町, 1 ♂ 1 ♀, 8. X. '71; 元町, 1 ♂, 14. X. '72; 本山町, 1 ♀, 8. IV. '73; 1 ♀, 16. VI. '76

(7) マダラチョウ科

① アサギマダラ

荒谷町, 1 ♂, 22. VIII. '72; 目崎町, 1 ♀, 23. VIII. '75

分布図に記されているほど広くは分布していない。

(8) タテハチョウ科

① ツマグロヒョウモン

本山町, 2 ♂, 3. IX, 18. XI. '71; 元町, 1 ♀, 15. V. '72; 墓殿町, 1 ♀, 13. VIII. '76

② ウラギンヒョウモン

三和町, 2 ♂, 27. VI. '76

芦品郡新市町藤尾にもかなり産している。

③ クモガタヒョウモン

三和町, 1♀, 1. VIII.'71: 1♀, 18. V.'74; 金丸, 1♂, 14. V.'72; 戸羽, 1♂, 28. V.'75

多い種ではない。

④ ウラギンスジヒョウモン

本山町, 2♀, VI.'71: 1♂, 8. VI.'74; 協和村, 1♂, 25. VI.'72

府中市本山町には豊富であったが最近は著しく減少してしまったに見かけない。

⑤ オオウラギンスジヒョウモン

帝釈峠, 1♀, 15. VIII.'71; 荒谷町, 1♂, 28. VI.'72; 三和町, 1♀, 13. VIII.'72: 1♂, 20. VIII.'75: 1♀, 17. VII.'76; 元町, 1♂, 8. VII.'73

広く分布しているようである。しかし多い種ではない。

⑥ ミドリヒョウモン

本山町, 1♂ 2♀, VI. 19. IX.'71; 元町, 1♂, 15. VI.'72; 荒谷町, 1♀, 19. VI.'72; 藤尾, 1♀, 10. IX.'72; 三和町, 1♀, 17. VII.'76

本種は広く分布しかなり普通種であるが、中国地方では♀に暗緑色の型が出現することがある。この報告は時折見かける。筆者採集の本山町産の♀と藤尾産♀がこの型である。この暗緑色はメスグロヒョウモン♀の黒色部の色と関係があると思われる。メスグロヒョウモンの場合、この暗緑色を著しく強くしたなら正に両者が一致するであろう。筆者は府中市西部の久佐町から世羅郡甲山町一帯で採集された本種の暗緑色型を数頭見たことがあるので、暗色型はかなり広く南部にまで分布していると思われる。この型の研究をくわしくすればメスグロヒョウモン♀の色彩的秘密が解明されるであろう。

⑦ メスグロヒョウモン

鵜飼町, 1♂, 4. VI.'72; 府中市出口町三室山, 1♂, 6. VI.'72; 元町, 1♀, 10. VI.'72; 藤尾, 1♂, 2. VI.'74; 府中市河面町, 1♂ 1♀, 15. VI.; 三和町, 1♂, 27. VIII.'75; 本山町, 3♂ 1♀, 12. 16. VI.'76

広く分布している。

⑧ ヒョウモンモドキ

箱田, 2♂ 2♀, 11. 25. VI.'72: 1♂ 1♀, 9. 29. VI.'74; 古道, 1♂, 7. VII.'74; 木野山町, 5♂, 15. VI.'75: 3♂ 2♀, 12. 27. '76(羽化): 1♀, 24. VII.'76

府中市木野山町(旧協和村)の湿原に多く産し6月中旬より7月中旬頃まで発生する。この湿原は本種をはじめヒメヒカゲ、ハッチョウトンボなどの湿原性の昆虫が豊富で隣接する小山にはゴマシジミが発生している。分布図によれば広島県東南部には記録がないただ帝釈峠で1♂が採集されているがどのあたりか定かでない。筆者は木野山町をはじめそれ以北の各地で少数ながら本種を記録している。分布は県の東南部一帯に広いと思われる。又前記の湿地において♀の黒化型も採集しているので付記しておく。

⑨ ヒオドシチョウ

協和村, 1♂, 11. VI.'72; 本山町, 1♂ 1♀, 11. 21. VI.'72: 1♂ 3♀, 7, 10, 15, 22. VI.'75

多い種ではないが分布は広い。本種は3年毎に発生が多くなるときいているがそのとお

りで筆者の記録を見ても3年毎になっている。72年と75年には特によく見かけそれ以外の年にはあまり見かけなかった。

⑩ ルリタテハ

本山町, 1♂ 1♀, VI. 12. X. '71: 1♀, 31. X. '72: 2♂ 1♀, 22. VI. '75; 元町, 1♂, 28. III. '75

⑪ スミナガシ

三和町, 1♂, 1. VII. '71; 本山町, 2♂, 6. VI. '76

非常に少い種である。府中市では荒谷町でも春型が得られている。

⑫ コムラサキ

帝釈, 1♂, 15. VIII. '71; 本山町, 1♂, 9. VI. '72: 3♀, 11, 16. VI. '76; 元町, 1♂, 15. VI. '72; 協和村, 1♂, 9. VI. '74; 木野山町, 2♀, 8. VI. '75

山地から平地まで多い。ヤナギがあればたいていみかける。

⑬ ヒメアカタテハ

元町, 1♂, 18. XI. '71; 本山町, 1♀, 15. VI. '74: 1♀, 15. VI. '75; 府中市諸毛町, 1♂, 25. VII. '74

以前は非常に多い種であったがここ数年は見かける機会がとても少なくなった。

⑭ アカタテハ

荒谷町, 1♀, 4. VII. '71; 本山町, 1♂, 31. V. '72: 1♂, 6. VI. '76; 三和町, 1♀, 27. VIII. '75: 1♂, 24. VII. '76; 藤尾, 1♂, 24. VIII. '76

⑮ キタテハ

本山町, 1♀, 15. X. '71; 元町, 1♂ 1♀, 8, 18. XI. '71; 芦品郡駅家町宜山, 1♂, 8. X. '72; 駅家町, 1♂, 8. VII. '74; 栗柄町, 1♂, 24. IX. '75

⑯ サカハチチョウ

元町, 1♀, 10. IV. '72; 本山町, 2♂, 22, 25. IV. '72; 金丸, 1♀, 14. V. '72; 荒谷町, 1♀, 28. VI. '72: 1♂, 28. VII. '73; 三和町, 1♂, 24. VIII. '75; 藤尾, 1♀, 29. VIII. '75: 1♀, 5. VII. '76

⑰ オオムラサキ

本山町, 2♂ 2♀, 3, 29, 30. VII. '71

分布図では広島県東南部は府中市のみ記録があるが、これは筆者の発表によるものであろう。しかし府中市でも最近は全く見かけない。他の場所にももっと分布していると思えるが芦品郡新市町藤尾と神石郡三和町の境界付近で目撃した以外は見かけたこともない。

⑱ ゴマダラチョウ

本山町, 1♀, VI. '71: 1♂, 29. VII. '71: 3♂, 20, 31. V., 22. VII. '72: 1♀, 16. VI. '76; 藤尾, 1♂, 24. VIII. '76

多い種ではない。

⑲ イチモンジチョウ

本山町, 1♂, VI. '71: 1♂ 1♀, 18, 31. V. '72; 新市町, 1♂, 1. VIII. '71: 1♂, 2. VI. '74; 1♀, 8. VI. '75; 三和町, 1♂, 27. VIII. '75

㉙ アサマイチモンジ

山野峠, 1♂, 18. VII. '71; 本山町, 1♀, 21. VII. '71; 2♂1♀, 20, 23. V. '72; 1♂, 6. VI. '76; 三郎丸町, 1♂, 28. VII. '76

府中市における春型は白帯が広い。前種に比べるとやや少ない傾向にある。

㉚ コミスジ

本山町, 1♀, VI. '71; 1♂, 28. IV. '72; 元町, 1♀, 11. V. '72; 1♂1♀, 22. IV, 13. VII. '73; 三和町, 1♂1♀, 18. V. '74

㉛ ホシミスジ

本山町, 1♂1♀, VI. '71; 府中市三室山公園, 1♀, 1. VI. '72

多い種ではない。分布図によれば広島県東南部は府中市と尾道市付近に記録があるが、前者は筆者の発表によるものと思われる。中国山地内に記録が少ないようである。

(9) ジャノメチョウ科

① ヒメウラナミジャノメ

元町, 1♂, 17. VII. '71; 1♀, 18. VIII. '73; 本山町, 1♂1♀, 25. IV, 16. VIII. '72; 栗柄町, 1♀, 24. IX. '75

② ウラナミジャノメ

荒谷町, 1♂, 28. VI. '72; 本山町, 1♂1♀, 4, 16. VII. '72; 僧麌町, 1♂, 6. VII. '75; 2♂, 17. VII. '76

前種にくらべるとはるかに少ない。分布図では広島県東南部にはいくらか記録はあるようである。筆者が記録した場所はいずれもやや山地であり平地で見かけたことはない。大図鑑によれば広島県は年2回の発生と思われるが2化の発生期と思われる8月の終りから9月には記録していない。前述の記録はほとんど7月であり大図鑑の言う1化の発生期である6月には1例のみ記録している。しかし採集個体はいずれもややいたんでいることからすべて1化の個体と思われ2化の発見に努めてゆくつもりである。

③ コジャノメ

栗柄町, 1♂, 18. VIII. '71; 三室山, 1♂, 29. IV. '72; 本山町, 2♀, 20. V, 4. VI. '72; 荒谷町, 1♂, 5. V. '75; 元町, 1♂, 21. VIII. '75; 目崎町, 1♀, 23. VIII. '75

④ ヒメジャノメ

元町, 1♀, 19. VIII. '71; 1♂, 4. VI. '72; 鶴飼町, 1♀, 17. VIII. '72

前種に比べれば少ないようである。

⑤ ジャノメチョウ

本山町, 1♂, VI. '71; 鶴飼町, 1♀, 17. VIII. '72; 木野山町, 1♂, 24. VIII. '76

⑥ クロヒカゲ

本山町, 1♂, 17. V. '72; 1♂, 6. '76; 三和町, 1♂, 24. VIII. '75

普通種である。

⑦ ヒカゲチョウ

本山町, 1♂, 13. VI. '72; 1♂, 8. VI. '74; 1♂, 7. VI. '75; 1♂, 6. VI. '76; 目崎

町, 1♂, 23. VIII. '75

⑧ オオヒカゲ

古道, 3♀, 20, 26. VII. '75

分布図では中国山地沿いに見事に産地が連なっている。兵庫県から西は海岸部はもちろんのこと県南部には全く記録はないようである。白水博士の言葉にも本種は 900 m 以下には産しないといわれているが筆者の記録している場所は 500 m であり一連の分布図からとびはなれた場所である。個体もかなり多いらしいが採集しにくい種であり多く記録することはできなかった。なお76年にも同じ場所で本種を目撃している。7月下旬という時期でありながらいずれの個体も全く新鮮であったことから大図鑑にいう 6 月中旬より 1 ヶ月くらい遅い発生かとも思われる。この付近から北部に広く分布しているかもしれない。

⑨ ヒメヒカゲ

箱田, 3♀, 29. VI. '74; 1♂, 27. VI. '76

旧協和村箱田の湿原にのみ分布し個体数も少ない。広島県東南部は空白であるが湿原を中心にならぬ少なめに発生している可能性がある。眼状紋も一定していない。

⑩ ヒメキマダラヒカゲ

古道, 1♀, 11. VI. '72

分布図によると中国地方はごく一部をのぞいて南半部は空白である。筆者もここに記録している以外は目撃すらしていないので数は少ないらしい。採集した個体は新鮮であり路上を弱々しくとんでいた。羽化直後と思われやわらかかった。

⑪ サトキマダラヒカゲ

本山町, 1♀, 31. V. '72; 世羅郡甲山町, 1♂, 9. V. '76

最近は数が少なくなった。分布図によると広島県東南部は府中市ののみの記録になっている。少数ながら広く分布しているものと思われる。

以上が筆者が広島県東南部において記録し現在もなお標本として保存しているものである。これら以外にも筆者が採集し他の虫屋諸氏に送ったり交換したりしたものも相当数にのぼるがそれらの個体はここには記録していない。筆者が記録した種以外にも広島県東南部ではギフチョウ、オオウラギンヒョウモン、イシガケチョウ、クロコノマチョウの 4 種の記録があるが、オオウラギンヒョウモンについては大図鑑の分布図には府中市付近に印がついているようだが筆者は本種を目撃すらしたことなく、この記録は疑わしい。

3. 主な採集地

(1) 府中市本山町

2 の概説においても少し述べたがここに府中市を中心とする主な採集地の紹介をする。

まず府中市木山町は府中市の東北部に位置し旧府中市の最高峰の亀ヶ岳の南斜面にあたる。亀ヶ岳は標高 539 m で頂上近くからは瀬戸内海が広く遠望できる。この亀ヶ岳一帯には府中市に産する蝶はほとんどすべて生息しており、府中市でも有数の好採集地となる。中腹の雑木林では平地性ゼフィルスは一通り採集でき、高く登るにつれてタテハ類が数を

増す。本山町は標高50mから500m以上と非常に急な斜面であるので標高差による昆虫の棲み分けも見られる。ただ本山町には河川がなく他の藤尾、三和町、山野峠、荒谷町、などの蝶類とは幾分異っているようである。

(2) 府中市荒谷町

荒谷町は本山町の西に位置し高い山々の谷間になっている。谷川が流れ原生林におおわれた昼なお暗い場所も多々ある。府中市の代表的採集地の一つでスジホソヤマキチョウ、ミヤマチャバネセセリなどは荒谷町がこのあたりの南限になっており徹底した調査をすれば面白い結果が得られるであろう。今のところ本山町と荒谷町を中心とする山地内で80種近くの蝶が記録される。惜しまらくは両町とも現在開発の手がのべられ工業団地、宅地造成、土砂採取と自然が破壊されつつあることである。5年前と比較すると著しく蝶は減少している。蝶の群が見れないということが数の減少を物語っていると思われる。

(3) 府中市木野山町箱田

筆者が問題にしようとしているのは縦100m横30m程の湿原である。日当りはよく様々な植物が繁茂し、広島県東部の唯一のハッチョウトンボ群生地となっている。ここにはヒヨウモンモドキ、ヒメヒカゲ等の湿地性の蝶が生息している。この湿原を初めて調査したのは72年筆者によってであるが、毎年行なっているにもかかわらず湿地性の蝶はこれ以外には見つかっていない。ヒメシジミ、コキマダラセセリ等も期待しているのであるが今のところ未記録である。このあたりには小さな湿原が少数ながら点在し、ハッチョウトンボ、ヒヨウモンモドキ等が発生している。この湿地は標高500mほどの山頂近くにあり自然の湧水によってうるおされている。またこの湿地に隣接する山にはワレモコウが自生しておりゴマシジミが多い。この山と前述の湿地は他の同様な蝶の発生地から遠くはなれており、ゴマシジミや湿地性蝶類の分布を知る上で重要な位置にあると思われる。このあたりは神石郡三和町境になっており、三和町側に入ればミドリシジミ、ホシチャバネセセリ等も記録しており府中市側でも大いに期待がもてる。

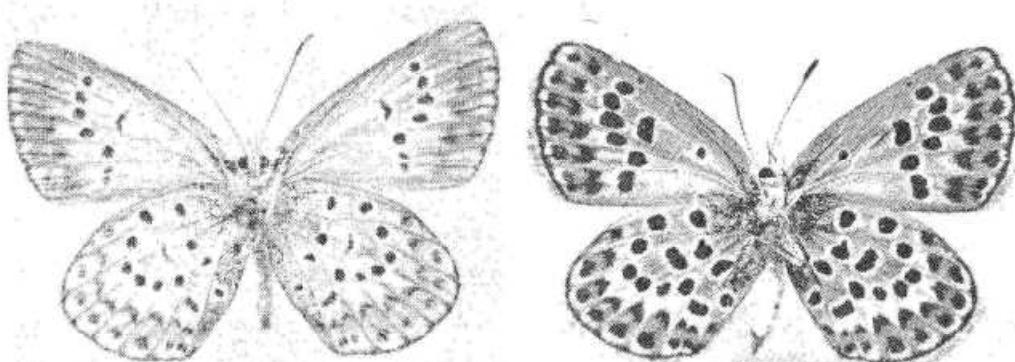
(4) 三和町古道

ここは小さな湿地が点々と続き標高500mである。雑木林に囲まれていてこの林にはオオヒカゲを産する。湿地にはわずかながらヒヨウモンモドキ、ハッチョウトンボを産し、ヒメシジミは普通に産する。ヒメシジミは7月頃から出現し約1ヶ月間見られる。前半は♂が多く後半は♀が多い。この湿地群において筆者は2頭のヒメシジミ異常型を記録している。詳しくは写真参照のこと。またこの付近にはホシチャバネセセリも多い。筆者はこの付近を広く調査してみたが湿地のあるところにすべてヒメシジミがいるわけではなく、一部に分布している場合が多かった。オオヒカゲは湿地を囲む雑木林内に分布しておりあまり広い分布ではない。ゼフィルスについては未調査であるので今後はこういった問題についても取り組んでゆきたい。

(5) 芦品郡新市町藤尾

新市町藤尾は大きくわけて二つの谷からなり東側の谷を父尾谷、西側を川井谷という。二つの谷を中心に芦田川の支流が数本下っており、いずれも深い峡谷を形成している。これらの谷の両側には、4,500 mの山々が連なっている。この一帯では枚挙に暇ないほど多くの珍しい種が生息している。以前にも度々述べたがここはいわゆる吉備高原の南端にあたりここより北と南では生物相が大きく異なる。前述のように藤尾を南限としている蝶はスジグロチャバネ、ヒロオビミドリシジミなど数多い。筆者の調査は今まででは谷川沿いが多かったので今後は山頂付近を中心に採集調査が必要となる。雑木林が多いところなので新たにゼフィルスが見つかるかもしれない。

川井谷をのぼりつめると藤尾板橋というところにつく。道が三つにわかれて石の急な坂をのぼると藤尾の山頂付近に通じヒョウモン類が多い。左の谷をゆくと県道を帝釈峡方面へとゆくことができる。中央の谷川沿いの道をゆくと谷川はますます深くけわしくなり多くの蝶に出会う。広島県東南部のチョウはこの深い谷沿いに大部分が産すると思われ筆者の記録中神石郡三和町となっていて字名の記してないものはほぼ全部この谷で記録したものである。藤尾板橋からこの谷を約500 m登ると三和町になりゆっくり歩くと約1時間ほどで谷の一番奥に着く。峡谷はここで終り谷川は小さく野の小川程度になる。この小川の東側が新市町、西側が三和町であるが、このあたりから両町側にナラガシワが多くなり、さらに三和町へと進むと道ばたの木にもヒロオビミドリシジミが豊産するようになる。ヒロオビミドリシジミにまじってウスイロオナガシジミ、ウラジロミドリシジミ等も見られ、その他ウラゴマダラ、その他のゼフィルス、ヒョウモンモドキ等も得られる。藤尾から三和町にかけての谷は今まで全く調査がなされておらず、今回の筆者の調査で広島県東南部を代表する採集地であることが判明した。さらに詳しい調査をしたい。



① ヒメシジミ（♀裏面）異常型

神石郡三和町古道産

前翅裏面外縁の斑紋が完全に流れている。

② ヒメシジミ（♀裏面）異常型

神石郡三和町古道産

前翅裏面の中室内側に黒点が出現している。このような異常型の例は大図鑑にもない。

4. ま　と　め

先にも述べたように広島県東南部の蝶相は普通種が知られているにすぎなかつたが、74年に筆者が府中市を中心とする蝶相について「月刊むし」に発表したことから藤岡知夫著「日本産蝶類大図鑑」の分布図に新しく記載された。しかしそれとても広島県東南部の蝶の分布について岡山県側と連続した種の分布を証明するに充分ではなかつた。この度ここに広島県東南部全般にわたり不完全ではあるものの全記録を発表したことにより以前よりいささかなりとも分布が鮮明になったと自負している。筆者は自然保護を第一目標においた調査をしているので、珍しい種であってもあまり多くの数を採集してはいない。だから少數のみ採集していても実は多数生息している場合もある。それについては個々の記録の項にできる限り記した。今後は少數個体しか記録できていない種、例えばウラキンシジミなどの分布をもっとくわしく調査する必要がある。そして個々の種について広島県東南部における分布地図を作成するつもりである。

筆者は府中市において昭和30年代の初め頃から採集をはじめ、途中数年間学生時代には中断していたがその後再開し現在に至っている。20位前は昆虫相は豊かで実に多くの虫が採集できたが、ここ数年は土地開発農薬等の影響で昆虫が著しく減少してしまつた。このまでゆけば絶滅する種もでてくる恐れがある。そうなれば広島県東南部の蝶相の実態は不明となり、今後の研究にも大きな支障となる。広島県東南部は備後工業整備特別地域として著しい発展をとげてはいるが、その反面緑を取り、山を削り、直接的にも間接的にも昆虫に大きな打撃を与えている。山を削り家が建つとたいてい樹木や芝生をうえる。これは悪いことではない。しかし開発行政の目の届いていないことがここに隠れているのである。それは虫を愛し、植物を愛し、自然を愛する者でないと理解できないことなのである。つまり山を削ったために絶滅した虫はあとで樹木をうえても復活しないのである。一度悪くなつた自然は元通りにはならないのである。食物連鎖もくずれ思わない悪い結果が生ずることもあるのである。自然は我々人間が考えているほど安易に動かせないものである。自然を開発する場合にはもっと深く広く考慮して行なわなければなるまい。

参　考　文　献

藤岡知夫、日本産蝶類大図鑑

門田 亨、広島県東南部の蝶、月刊むし、44.

——、広島県東南部の蝶の分布に関する一私見、月刊むし、56.

白水 隆、中高生図鑑、昆虫 I、チョウ.

横山光夫・若林守男、原色日本蝶類図鑑。

Maddester 雜言録(12)

虫と尺八

水野弘造

(〒601-13 京都市伏見区醍醐上の山町21-3, A2-104号)

私の余暇の過し方は春から夏にかけて虫採りに忙しいが、オサ掘りに出かける程の気違ひではないので、秋冬は尺八を吹くことを常態としている。季節的な dimorphism と言える。その尺八も年をとると共に吹くことよりも文献調査などの方が面白くなり、自然に口ほどに実力が伴わないという現象を呈するのは虫採りの場合と同じである。

今回は虫に関係のある尺八の話を紹介する。

尺八の害虫

尺八は竹で作るので竹を喰う虫が尺八の害虫となる。山形県ではベニカミキリが普通採れないそうであるが、尺八から出てきた記録があって、これを山形県産カミキリ目録の中に入れるべきかどうかで議論を呼んだことがあった由。板垣輝彦氏から聞いたことがあるが、結果はどう処理したかは聞いていない。尺八の歌口（息を吹きつける所）は水牛の角を使うので保管が悪いと虫に喰われ易い。古道具屋に出ている尺八の半分位はここをやられている。カツオブシムシが喰うのであろうか、犯人はまだ確かめていない。

尺八家

日本には昔から尺八吹きが多く、尺八専門家は別として有名人に、聖徳太子、一休和尚、雪舟、日本で最初の軽気球を上げた上原六四郎、それに吾が昆虫学の草分け、松村松年、実業家安川第五郎などを挙げることができる。松村先生の尺八は当時ざらに無い有名なものだったらしく、「三曲」という雑誌の昭和9年12月号に次のような記事が出ていた。

（中塚竹禅；元祖琴古先生作銘管「雲上律」）……此（初代黒沢琴古作尺八「雲上律」を指す）長さと太さとから比較する竹を他に求めますと私の知っている範囲では札幌農業大学の松村松年博士の二尺四寸管と今台湾に居る谷狂竹氏の二尺五寸管と此二本であります。云々。

私は手が小さい方で2尺1寸管よりも長い尺八はうまく吹けない。従って松村先生は相当掌が大きく指の長い人で手相学的には器用な人であったと思われる。「新昆虫」昭和30年6月号に、松村先生が弟子の素木先生に温泉の中で尺八を吹いてみろと命じ、素木先生は随分困ったという話が出ているので、素木先生も尺八を吹かれたことが分る。松村先生は大学の研究室で尺八を吹いた学生を不謹慎だとひどく叱られたそうで、ここらがどことなく間の抜けた人物の多い一般尺八家と違って明治時代の大学教授らしい面であろう。松村

先生も昆虫採集の時には採集用具の片隅に尺八をしのばせ宿での夜間採集の時などには蛾を待つ灯火の側で尺八を静かに吹かれたことであろうと想像している。

尺八楽と虫

「日本音楽」No.142(昭和36年5月)に正垣古真という人の「尺八音楽の本質」という題による難解な論文が載っているが、その中に面白い個所があるので次にそのまま引用する。

上述の如く音楽は最高理論第一義諦の表現なるが故にひとり人間のみにとどまらず一切の動物、凡そ聴覚を有するものに好まれる。乳牛にいい音楽を聴かせると良質の乳を出す実験もあり、或る牧場でピアノの先生が子供に教えながら弾いていたら牛が窓から覗いてよだれを流して聴き入っていたが、次に子供が弾き出したらいやな顔をして行ってしまったという話もある。音楽の上手下手まで判るらしい。犬の音楽の好きなのはよく知られるところ、ピクターの看板も之を利用してはいるほどである。私はずっと以前に大寒の間だけ寒稽古を数年続けてやってみたことがある。東京の郊外野原の中へ朝5時に自転車で出掛けけて行き、座布団を敷いて座り込み陽の出るまで2時間吹いていた。その時必ず犬が出て来るのである。そして私の側へ座って笛に合わせてオーオーとなく、尺八をやめると犬もなきやみ、始めるとまたなきはじめる。之は毎朝のことであった。鹿の遠音の曲を三代古童師が奈良公園で吹かれた時、鹿が沢山集まって来たことは写真にも残っている。私が子供の時分に山で尺八を吹いていたら、蝮(まむし)が56匹出て来て驚いて逃げて帰ったことがあった。蚊、蠅なども尺八の音色は特に好きとみえて尺八を吹き出すと今迄居なかつたのがよって来る。その時には何時も蚊が先にやって来て少しおくれて蠅が出てくる。どうして蚊が早く来るのかということは長い間考えていたがふと判った。それは蚊の方が蠅より聴覚が発達しているからである。蠅は食べものにいやしく腐ったものでも何でも一応なめて見ないと気がすまないようである。従って味覚の方が発達した。蚊は動物の血しか食さないという口の綺麗な虫であるから味覚神経は蠅におとるが、音楽的な発声に蚊生を楽しむ。そこで聴覚の方が発達しているのだと気がついた。蜘蛛の音楽好きもよく知られているが、私が或る時三味線と合奏していたら、横の柱から1匹の蜘蛛がおりて来て畳の上を這い三味線の前を通り過ぎて尺八の前へ来て止り、じっと聴いている様子であったが、合奏が止むと慌ててもとの柱にかけのぼり、次の合奏が始まると又降りて来て三味線を通過し尺八の前へ来て止った。私は暗譜で吹いていたので之を見破られた。之によつて蜘蛛は絃楽より管楽の方を好むということが判ったのである。植物は感情理性を持っていないから太陽空気は自然を好むが第一義諦の理、音楽などは判らない。

尺は十界を現わすという、十界は感情を持っている生物の智恵の分類であると最初に述べた通り植物は十界中のものではないからである。

ここで私の聞きかじりの貧弱な動物学知識から判断すると、ヘビはツンボとされているのでマムシが尺八の音に誘われて出てきたと判断するのは短絡であろう。しかし哺乳動物の聴覚とは異質の音感さえ持っていないと断定できるかどうかについては全く知らないので上記内容を否定することもできない。昆虫などの場合は確かに聴覚が発達している場合が多くヒグラシやスズムシの発声は人間にも気分良いので、音感は似たところがあるのか

もしれない。しかしクモが絃音より尺八音を好むという記事を肯定できるか否か大いに疑問はある。この論文は音楽誌に発表されたものであるから議論の対象にはされまいが、これが自然科学の雑誌に発表されたとしたら随分妙なものであろう。

蚊が尺八の音に集まるという事については実験的に確かめた人があり、「三曲」昭和10年9月号に北沢貞雄という人が発表している。蚊の種類もクロヤブカ *Arimigeres obturbans* と明記されており、尺八も1尺6寸から2尺管まで管長を変え集来率を計算している。この結果をみると蚊が尺八に集まるのは特定の振動音に対して飛来するのであり、尺八の音楽に感じて来るのではないようである。これに関連して私の友人M狂士の御母堂が、かつてユスリ蚊の蚊柱の下に立って「ア」と低い声で発声すると蚊が顔にポタポタ落ちて来ることを発見し感心したという話を思い出した。

宇治という所は実に蚊の多い所で、これを捕食するトンボもごく最近までは多種類多数が棲息していた。虚無僧の祖とされている朗菴という人は宇治川辺の吸江庵という草庵に住んだとありその頃（約500年前）の宇治川はしばしば氾濫し、現在は干拓されてしまった巨椋池（オグラ池）も原始の姿そのままだった筈なので、発生する蚊の数は想像を絶するものであったろうと思われる。こういう環境で尺八を吹いた朗菴の顔には実に多数の蚊が来集した筈で、吹竹三昧の生活を送ったという朗菴も夏の夜などには实际上尺八が吹けたか否か疑わしい。一休和尚は朗菴の友人で俱に尺八を吹いたのであるが、人間相手ならば誰にも負けない一休さんが宇治の蚊にどう対処したのか聞いてみたいものである。

蚊、虻、蜂、蟻などの漢字は全てその翅音に由来すると思われるので東洋人が昔から聴覚的に鋭敏、繊細であったことは明らかである。最近、角田忠信博士の発見された日本人と西欧人の音認知機構（脳内処理）の差では、虫や鳥の声と邦楽器音に対する脳内処理が、日本人と西欧人とで対称的であって、西欧人にとっては虫の声も尺八の音も西洋楽器の音と同じであるのに日本人には虫の声は尺八の音と同じであっても西洋楽器の音とは別である点が著しい。（インセクタリウム12(10), 1975, 余談になるが、この発見は從来、邦楽と西洋音楽の差に関して邦楽誌上に長々と展開されたにもかかわらず不明瞭だった分析や議論をきわめて明確に結論するもので、文化勲章に値する重要発見であろう）。

本誌VOL. 1 No.11（昭和26年）に昆虫を取り扱った音楽なるものの一部が紹介されているが、その数の少いことは驚くばかりで、勿論これが全部ではないとしても西洋音楽に於ていかに虫が音楽要素とされていないかおおよその見当はつく。

邦楽に於てはここに明治以後の新日本音楽では「すずむし」「まつむし」「ひぐらし」「虫の音」「虫の武藏野」等々題名からして虫の声そのものの描写音楽数多く、童謡、俚謡、箏曲、地唄、長唄、清元、琵琶唄、能楽、雅楽と邦楽の全分野を虫との関係から調査すれば大論文ができるよう。

古典尺八曲は元来本曲と称する尺八独奏の器楽曲で、普化宗という宗教に用いられた法楽なので、象徴的、修行的な曲が主体であるが、それでも「蝴蝶曲」（京都明暗寺）、「黄昏」（同、曲中ヒグラシの描写音あり）など明らかに虫に関係ある曲があり、曲名不詳の、「転苔搔」（コロスガガキ、浜松普大寺および江戸・琴古流）というのもコオロギの声に關係しているのではないかと思う。 「志図」という曲中のメロディには、エゾハ

ルゼミの鳴き方そっくりの所があり、私はその曲を吹くと山中に居る気分となる。

尺八家の雅号を、本則名、吹竹名、竹号などと言うが、竹号で虫に関係ある字は少なく、蝶という字以外に使用例を見かけない。私の竹号も、礎空または沢山と言い虫とは関係ない。

吉田一調という虚無僧は明治維新で普化宗が廢宗され、日本の尺八史上最も重要な役割を演じた人となったが、この人の辞世の歌に

後の世もまた夢ならば花に遊ぶ

竹紫山の蝶となりなむ

とある。しかしこれとても文人としての感覚であって虫好きの歌とは言えない。

[追補]

竹号に蝶の字のほか虫に関係ある号を見ない旨書いたが、脱稿後、江戸時代の浜松普大寺の看主で「蟻道」という人が居たことをふと思い出し、改めて吹竹家の号を調べ直したところ、明法初年頃播州の尺八家で「蚊觜」（ブンシ）という人も見つかった。蚊觜とは尺八を吹く姿が蚊の吻を立てる姿と類似するところからつけた号と思われるが、「蟻道」と共に尺八家の号としては珍稀な方に属する。蝶の字の入った竹号には「一蝶」「花蝶」「蝶山」などがある。蟬の字などは使われてよさそうなものであるが今のところ見出していない。松村先生は欧洲旅行に大尺八を携行された程の尺八狂だったそうであるが、竹号を平常は（持っておられたかもしれないが）使用されず尺八家との交りでも本名を通されたということである。

むかしとんぼ

佐 藤 清 明

(Ⅲ) 岡山一中の博物同好会

この倉敷昆虫同好会の先駆ともいべきものに岡山一中博物同好会（1939—1944）があった。その会誌があるので、それによって当時を回顧してみたい。

創刊は昭和14年（1939）1月1日発行、この頃は平沼内閣誕生、支那事変が一段落ついで東亜の共栄が叫ばれた頃で、私は岡山博物趣味の会というものを作っていて、これは主に小学校、中学校、高等女学校等の夏休みの採集品を天満屋デパートに出品して貰い、それに色々の参考品をマニアから集めて陳列し、毎年9月に催し場いっぱいに張り出して人気をよんだものである。採集品には知事賞、市長賞、新聞社賞、天満屋賞等を送って労をねぎらい、受賞側では家族や知友を伴って毎日遊びに来て大人満員の好評を拍した。中にも地元の岡山一中の作品は常に人の目をひき毎回金的を射て観覧者の目を驚かした。その余勢を駆って特選で入賞した5年生松田基君（今の両備バス社長）を主班にして博物同好

会報の発刊となったのである。私の寓居は一中（岡山城内）の西に隣あった石山（今のN H K の一角）にあって一中の諸君が常に帰校の途中に採集ニュースを入れて下さった。しかしその半面、同好学徒の母親達の中にはもしや虫に凝って六高の受験に失敗してはと私の留守に愚妻に実情を訴えて採集中止を私から説教してくれと依頼するのが少なくなかったという笑えぬ挿話もある。

創刊号が届いた時、丁重な次の文が添えてあった。「拝啓、今般先生におなじみ深い私達の手で会報を創刊いたしました。何しろ素人ばかりで、それに未経験のことではあり、つたない出来ではございますが私達の苦心を斟酌下さいまして、幸に御一読を頂きますれば、私達会員の喜びは之にすぎるものは御座しません。……」創刊号の執筆者の中には松田君の他に山内逸郎（今の国立病院児科医長、5 ツ児出産の指導者）、佐藤博（佐々木ガン研部長）、田渕新之助（日興海運取締役）松田堯（両備運輸社長）、筒井純（川崎医大教授）久城清作（死亡）、松本裕存（死亡）等の諸君が発表している。

始めはガリ版の手刷りであったが中途からは現在の「すずむし」に似た体裁で、業者によるプリントになり、第6号の頃は5年生黒田祐一（今の黒田病院長）、西田公一（弁護士）4年生山根知之、3年生好本精、2年生楠見昭三の諸君のときであった。そして第9号（昭和19年6月）は好本君達によって「岡山一中科学班雑誌、伯耆大山特輯号」として編集せられ、巻頭に高畠浅次郎校長、岩田二郎教諭の序、続いて大山の地質地形、動物、植物が分担され、クワガタ（好本）、カミキリ（星野）、コメツキ（西田）、タマムシ、コガネ、セミ（好本）と文献付で堂々80頁に及ぶ論文集となった。高畠校長はその後、岡山県教育長、関西高校長等を経て今なお健在（89才）。岩田教授は直後に染色体の研究で理博になり、陸軍に召集され陸軍教授に任官、間もなく喉頭ガンを病み本人も病名を打ち明けられずに若くして倒れた。当時これを助けた人に武田幸太郎教授（今岡山理大教授）、岡崎俊太郎氏（昆虫写生家）、伊藤芳明先輩（当時六高生、今は日本ポリウレタン会社）等があった。

第8号のときは太平洋戦争のヤマ場にあたり、学徒動員が決定した頃で、ガダルカナルの激戦の直後、会も雑誌もこれが最後となった。そして、それから8年後、舞台は灰燼の岡山から西の倉敷に廻り、こここの若人の手によって再生の芽がふき出て倉敷昆虫同好会が生れたのである。

7月にとれたアカジマトラカミキリ

鳥取県大山寺、1号、July 26, '77、堀亘採集。

大山寺部落の旅館の道路に樹上から落ちてきた本種を採集することができた。本種の採集記録としては早い時期のものと思われる所以報告します。（堀亘、総社東中学校2年）

すずむしバックナンバー分譲価格

巻号	各号分冊価格	巻号	各号分冊価格
16 (2・3・4合併号)	1,000円	106号	600円
17 (1, 2)	500円	107号	400円
18 (1, 2)	500円	108~113号	1,000円
19 (1・2合併号)	1,000円		

申込みは送料100円をそえて、前金（現金、振替、小為替）で本会事務所へ

倉敷昆虫同好会顧問

石原 保先生
小泉 憲治先生
安江 安宣先生
佐藤 清明先生
杉山 章平先生
白水 隆先生
重井 博先生

倉敷昆虫同好会幹事

青野 孝昭・宇野 弘之・近藤 光宏・中村 具見
難波 通孝・横本 精二・三宅 宗夫・脇本 浩

医療法人

重井病院

倉敷市幸町 TEL (22) 3655

第 114 号 目 次

渡 辺 昭 彦	岡山県のコメツキムシ	1
山 地 治	岡山・鳥取両県よりのナガクチキムシ採集 記録・追加報告	17
那 須 敏・山 地 治	高鉢山(鳥取県)のカミキリムシ追加報告	19
道 信 順	苦田郡上齊原村の蛾	21
竹 内 亮	蒜山高原でヒョウモンモドキ及びヒメシジミの幼虫を 採集	42
門 田 亨	広島県東南部の蝶の分布	45
水 野 弘 造	Maddester 雜言録(12)虫と尺八	64
佐 藤 清 明	むかしとんぼ	67

おとしぶみ(短報)

山 地 治	臥牛山のマルモンサビカミキリ	20
風 早 保 男	リンゴドクガの幼虫をレンゲツツジから発見	20
風 早 保 男	燈火に交尾飛翔するシロフブユエダシャク	20
風 早 保 男	ゴマダラチョウ幼虫の1観察例	43
風 早 保 男	狂い咲きのエニシダ?にウラナミシジミの産卵	43
風 早 保 男	総社市でナガサキアゲハの越冬蛹	44
赤 枝 一 弘	西大寺のナガサキアゲハ	44
水 島 靖 夫	ホシミスジとナガサキアゲハについて	44
中 村 具 見	イシガケチョウを備中町で採集	44
堀 宜	7月にとれたアカジマトラカミキリ	68

す ず む し No. 114, December 28, 1977

倉敷昆虫同好会発行

連絡事務所 倉敷市幸町(倉敷昆虫館内) 〒710

振替口座 岡山 6927

本部(倉敷市中央2丁目20の1 岡山大学大原農業生物研究所内)

印 刷 所 サンヨー印刷株式会社

岡山県総社市駅前2丁目13-5